

Dell™ Latitude™ L400 ユーザーズガイド

[まえがき](#)

[はじめに](#)

[セットアップと操作](#)

[電源の使い方](#)

[ノートブックコンピュータを携帯するときは](#)

[Intel SpeedStepオプション](#)

[ドライバおよびユーティリティのインストール](#)

[コンピュータのカスタマイズ](#)

[ハードディスクドライブの取り付け](#)

[コンピュータのトラブルシューティング](#)

[仕様](#)

[困ったときは](#)

PP01Sモデル

このマニュアルの内容は予告なしに変更されることがあります。
© 2000年 すべての著作権はDell Computer Corporationにあります。

Dell Computer Corporationからの許可なしには、いかなる方法においてもこのマニュアルの複写、転載を禁じます。

このマニュアルに使用されている商標： Dell、Latitude、OptiPlex、Dimension、Inspiron、およびDellWareはDell Computer Corporationの商標です。Microsoft、Windows、Windows NT、およびMS-DOSは、Microsoft Corporationの登録商標です。Intel、およびPentiumはIntel Corporationの登録商標であり、CeleronはIntel Corporationの商標です。3Comは3Com Corporationの登録商標です。

このマニュアルでは、上記記載以外の商標や会社名が使用されている場合があります。これらの商標や会社名は、一切Dell Computer Corporationに所属するものではありません。

初回リリース： 2000年 11月 1日

[目次ページに戻る](#)

ACアダプタ: Dell™ Latitude™ L400ユーザーズガイド

- [ACアダプタの使い方](#)
- [ACアダプタの接続](#)
- [コンピュータの起動](#)

ACアダプタの使い方

ACアダプタは、コンセントからのAC電源をコンピュータで使用されるDC電源に変換します。アダプタキットには、DCケーブル(コンピュータに接続)の付いたACアダプタ、およびアダプタをコンセントに接続するAC電源ケーブルが含まれます。

コンピュータの電源を入れた状態でも切った状態でもACアダプタに接続できます。

ACアダプタは世界各国のAC電源に適合します。ただし、電源コネクタは国によって異なります。国外でAC電源を使用するときは、その国に適した電源ケーブルが必要になる場合があります。

Latitude L400アドバンスポートリプリケータにドッキングされたコンピュータは、ACアダプタを通してコンセントに接続したアドバンスポートリプリケータから、電源が供給されます。

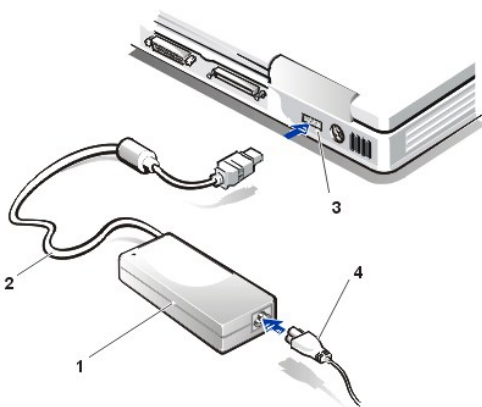
 **メモ:** バッテリを取り付けているコンピュータをAC電源に接続して動作させると、ACアダプタは必要に応じてバッテリーを充電して、充電状態を保ちます。

注意: コンピュータをACアダプタで動作させたり、バッテリーを充電する場合は、ACアダプタを机の上や床の上など空気の循環の良いところに置いてください。キャリーケースの中など風通しの悪いところでは使用しないでください。

ACアダプタの接続

1. ACアダプタケーブルをコンピュータのACアダプタコネクタに接続します(図1参照)。
2. ACアダプタ電源ケーブルをACアダプタの一端に接続します。
3. ACアダプタ電源ケーブルをコンセントに差し込みます。


図1 ACアダプタの接続



- 1 ACアダプタ
- 2 ACアダプタケーブル
- 3 ACアダプタコネクタ
- 4 ACアダプタ電源ケーブル

コンピュータの起動

コンピュータの電源を入れるには、[電源ボタン](#)を押します。

 **メモ:** ご使用のコンピュータのオペレーティングシステムが「ロック」してコマンドに応答しない場合、電源を切るには、電源ボタンを少なくとも5秒以上押し続けます。

オペレーティングシステムがロックして電源ボタンに反応しない場合、コンピュータの底にあるリセットスイッチを使って再起動できます。クリップをまっすぐに伸ばして[リセットスイッチホール](#)に差し込み、1秒以上押し続けてください。

[目次ページに戻る](#)

[目次ページに戻る](#)

電力管理設定 : Dell™ Latitude™ L400 ユーザーズガイド


- [省電力設定の最適化](#)
- [キーの組み合わせの使い方](#)
- [ディスプレイを閉じる](#)
- [サスペンドモード](#)
- [スタンバイモード](#)
- [Windows NTのSuspend-to-Diskモード](#)
- [Windows 98、Windows 2000、およびWindows Meの休止状態モード](#)
- [Windows 98およびWindows Meの電源の管理のプロパティ](#)
- [Windows NTの電源の管理のプロパティ](#)
- [Windows 2000の電源オプションのプロパティ](#)

省電力設定の最適化

バッテリーの電力は通常、省電力設定を低い値(短い時間)に設定するほど長持ちします。一方、高い値(長い時間)を設定すると、コンピュータのパフォーマンスが向上します。

バッテリーを使用するコンピュータの動作時間とソフトウェアの相対的な性能に設定が与える影響は、次の方法で確認できます。

- 1 電源管理の設定のすべてをデフォルトに設定してコンピュータを使用します。
- 1 電源管理の設定のすべてを無効またはオフに設定してコンピュータを使用します。
- 1 電源管理の設定のすべてを最小値または最大値に設定してコンピュータを使用します。

 **メモ:** ACPI 対応システムの場合、キーの組み合わせおよびスタンバイモードまたは休止状態モードなどの電源管理設定は、コントロールパネルの電源の管理または電源オプションのプロパティウィンドウでおこないます。 [Windows 98およびWindows Meの電源の管理のプロパティ](#)および [Windows 2000の電源オプションのプロパティ](#)を参照してください。他のシステムの場合、電源管理設定は [セットアップユーティリティ](#)の [Power] 画面でコントロールできます。

キーの組み合わせの使い方

[表1](#)に電力管理関連のキーの組み合わせを示します。


 **メモ:** 外付けキーボードで表1のキーの組み合わせを使用するには、 [セットアップユーティリティ](#)のAdvanced画面でExternal Hot Keyオプションを有効にし、それから<Fn>の代わりに<ScrollLock>を押します。


表1 キーの組み合わせ

機能	動作 / 動作停止
ディスプレイの電源を切る	動作: <Fn><F1>を押します。 動作停止: カーソルを移動するか内蔵または、外付けキーボードの任意のキーを押します(何も起らない場合は、コンピュータが サスペンドモード または スタンバイモード に入っている場合があります。通常動作に復帰するには、電源ボタンを押します。)
サスペンドモード (または スタンバイモード)	動作: <Fn><Esc>を押します。 動作停止: 電源ボタンを押します。
Suspend-to-Disk モード*	動作: <Fn><a>を押します(フランス語のキーボードでは、<Fn><q>)。 動作停止: 電源ボタンを押します。
バッテリーステータスアイコンを見る	<Fn><F3>を押します。

* これらのキーの組み合わせは、ACPIを使用するオペレーティングシステム(Microsoft® Windows® 98、Windows 2000、またはWindows Meなど)では機能しません。

ディスプレイを閉じる

コンピュータの電力を節約するには、コンピュータを使用しないときにディスプレイを閉じる方法もあります。ディスプレイを閉じる場合に、外付けモニタが接続されていない場合は、コンピュータのディスプレイが自動的にオフになり、また**セットアップユーティリティ**のPower画面でLid Closeオプションをどのように設定しているかによって、コンピュータは**サスペンドモード** (Windows 98、Windows 2000、およびWindows Meでは**スタンバイモード**) になることもあります。

 **メモ:** 外付けモニタが接続されていると、ディスプレイを閉じてでもコンピュータはサスペンドモード(またはスタンバイモード)を起動しません。外付けモニタはそのまま使用できます。

操作を再開するには、ディスプレイを開きます(コンピュータの操作を再開できるようになるまでに数秒かかることがあります)。

サスペンドモード

ご使用のコンピュータでMicrosoft Windows NT®オペレーティングシステムが動作している場合、サスペンドモードによりほとんど全ての機能が停止しますが、約20秒から30秒ですぐに操作を再開できる状態になっています。コンピュータから離れる場合は、常にサスペンドモードを使用してください。

注意: Windows NTでは、スタンバイモードに入る前にデータをハードディスクではなくRAMに保存します。コンピュータをバッテリーで動作している間にスタンバイモードを起動した場合は、バッテリーを完全に使い切ると、RAMのデータが失われる恐れがあります。

サスペンドモードは、マイクロプロセッサロック、ディスプレイ、ハードディスクドライブ、CD-ROM、DVD-ROM、またはZip 250ドライブモジュール(取り付けられている場合)、外付けモニタコネクタ、外付けキーボード(接続されている場合)、パラレルポート、シリアルポート、タッチパッド、ディスクドライブをオフにし、電力を節約します。

<Fn><Esc> (<セットアップユーティリティのPower画面のExternal Hot-Keyオプションが有効になっている場合は、外付けキーボードの<Scroll Lock><Esc>)を押すと、すぐにサスペンドモードになります。

コンピュータがサスペンドモードに入っていると、**電源インジケータ**は点灯しません。

サスペンドモードから通常の動作に復帰するには、電源ボタンを押します。コンピュータが通常の動作に戻るまでに数秒かかることがあります。

 **メモ:** サスペンドモードから復帰する際に、**パスワード**が設定されている場合は、パスワード入力画面が表示されます。

Microsoft Windows 98オペレーティングシステムでは、サスペンドモードをスタンバイモードといいます。


スタンバイモード

コンピュータがMicrosoft Windows 98、Windows 2000、またはWindows Meオペレーティングシステムで動作している場合は、スタンバイモードによりディスプレイ、ハードディスクドライブおよびその他の内蔵デバイスの動作を停止して節電をおこないます。コンピュータがスタンバイモードから復帰すると、スタンバイモードに入る前のデスクトップの状態がそのまま復元されます。

注意: これらのオペレーティングシステムでは、スタンバイモードに入る前にデータをハードディスクではなくRAMに保存します。コンピュータをバッテリーで動作している間にスタンバイモードを起動した場合は、バッテリーを完全に使い切ると、RAMのデータが失われる恐れがあります。


スタンバイモードは<Fn><Esc>を押して、起動できます。スタンバイモードから通常の動作に復帰するには、電源ボタンを押します。

Windows NTのSuspend-to-Diskモード


 **メモ:** APM対応のMicrosoft Windows 98、Windows 2000、およびWindows Meオペレーティングシステムは、**休止状態モード**と呼ばれる同様の機能を使用します。

S2D(Suspend-to-Disk)モードは、全システムデータをハードディスクの予約エリア(S2Dファイル)にコピーしてからコンピュータの電源を切ります。通常の動作を再開したときには、このモードを起動する前にロードしたプログラムがそのまま実行され、同じファイルが開かれている状態に戻ることができます。

1ヶ月以上コンピュータを使用しない場合は、コンピュータをS2Dモードにしておいてください。S2DモードはNVRAM(不揮発性ランダムメモリ)に保存されている設定情報を保持します。予備のバッテリーもこの情報を保持しますが、1ヶ月を超えるとバッテリーが切れるおそれがあります。


 **メモ:** S2Dモードは**バッテリー**の充電量が不足すると、システムデータをすぐにハードディスクへ保存します。

External Hot Keyオプションが**セットアップユーティリティ**のPower画面上で有効になっている場合は、<Fn><a>(外付けキーボードの場合は<Scroll Lock><a>)を押すとS2Dモードになります。フランス語のキーボードの場合は、<Fn><q>または<Scroll Lock><q>を押します。


 **メモ:** これらのキーの組み合わせは、ACPIを使用するオペレーティングシステム(Windows 98、Windows 2000、またはWindows Meなど)では機能しません。

S2Dモードを解除するには、電源ボタンを押します。

PCカードには、S2Dモード後に作業を再開すると正しく動作しないものもあります。問題がある場合は、**カードをいったん取り外して、挿入し直してください**。


 **メモ:** ご使用のコンピュータには、出荷前に適切な大きさのS2Dファイルがあらかじめ作成されています。ファイルを削除したり、ファイルのサイズを大きくしたり、削除したS2Dファイルを再び追加する場合は、S2D(Suspend-to-Disk)ユーティリティを使用してください。S2Dファイルの作成の詳細は、「[Suspend-to-Diskユーティリティ](#)」を参照してください。

Windows 98、Windows 2000、およびWindows Meの休止状態モード

 **メモ:** 休止状態モードにはWindows NTで使用されるsuspend-to-diskモードと同様の機能があります。

ACPIが稼働しているシステムでは、コントロールパネルの電源オプションのプロパティ(Windows 2000)または電源の管理のプロパティ(Windows 98およびWindows Me)で、コンピュータの休止状態モードを有効にできます。

休止状態モードでは、メモリにあるすべての内容をハードディスクドライブにコピーしてから、コンピュータへのすべての電源を切ります。通常の操作を再開すると、休止状態モードを有効にする前にロードされたプログラムがそのまま実行され、同じファイルが開きます。

 **メモ:** バッテリー電源が切れそうな場合、休止状態モードを使うとシステムデータをハードディスクドライブに保存して保持することができます。


休止状態モードを有効にするには:

1. スタートボタンをクリックし、設定をポイントして、コントロールパネルをクリックします。
2. 電源オプション(Windows 98およびWindows Meの場合電源の管理)アイコンをダブルクリックします。
電源オプションのプロパティまたは電源の管理のプロパティウィンドウが開きます。
3. 休止状態タブをクリックします。
4. 休止状態をサポートするを選択します。
5. 適用をクリックします。
6. 詳細または詳細設定タブをクリックします。
詳細または詳細設定タブのオプション一覧で、希望に応じて1つまたは複数のオプションを休止状態に設定します。
7. OKをクリックします。

コンピュータをシャットダウンする時、スタートメニューに休止状態という新しいオプションが表示されます。休止状態モードの詳細は、お使いのオペレーティングシステムのマニュアルまたはヘルプを参照してください。

休止状態モードから復帰するには、電源ボタンを押してください。

注意: ACPIが稼働しているシステムでは、休止状態モード中に、デバイスを取り外したりコンピュータをアドバンスポートリプリケータから外すことはできません。

 **メモ:** [電源の管理のプロパティ]に[休止状態]タブが表示されない場合は、休止状態ファイルを作成する必要があります。詳細は「[Suspend-to-Diskユーティリティ](#)」を参照してください。

PCカードによっては、休止状態モードから復帰した後、正常に動作しないものがあります。カードで問題が発生した場合は、そのカードをいったん取り外してから入れ直してください。

Windows 98およびWindows Meの電源の管理のプロパティ

Windows 98およびWindows Meの場合は、電源の管理のプロパティウィンドウで省電力機能を設定できます。

 **メモ:** タイムアウトの設定や、休止状態モードを有効にするには、[セットアップユーティリティ](#)のPower画面を使うより、[電源の管理のプロパティ]ウィンドウを使って行ってください。

Windows 98およびWindows Meで電源の管理のプロパティウィンドウを開いて省電力機能を設定するには次の手順を実行します。

1. スタートボタンをクリックし、設定からコントロールパネルをクリックします。
2. 電源の管理アイコンをダブルクリックします。
電源の管理のプロパティ ウィンドウには、次のタブがあります。
 1. 電源設定 — 電力管理設定を個別に変更、または3つの電源モード設定(常にオン、ホーム/オフィス デスク、ポータブル/ラップトップ)の選択をおこないます。いずれも電源管理のデフォルトに設定できます。

- 1 **アラーム** — バッテリー低下アラームおよびバッテリー切れアラーム (Windows 98) または **バッテリー低下の警告** および **バッテリー消耗の警告** (Windows Me) を設定して、システムの **バッテリー** 残量が一定レベル (%) より低くなった場合に警告を表示することができます。出荷時には、**バッテリー低下アラーム** および **バッテリー切れアラーム** の各チェックボックスはオフになっています。これらの項目はオンにしないことをお勧めします。
- 1 **電源メーター** — システムがバッテリーで動作している場合にバッテリーの残量 (%) を表示できます。システムが AC 電源で動作している場合には、メッセージが表示されます。
- 1 **詳細** または **詳細設定** — Windows のタスクバー上に **電源メーター** を表示して、コンピュータがスタンバイモードから復帰する際にパスワード画面を表示できます。また、電源ボタンの動作も設定できます。
- 1 **休止状態** — Windows の休止状態モードを有効にすることができます。

Windows NT の電源の管理のプロパティ

パワーマネージメントコントローラ (Power Management Controller) と互換性のある Softex ソフトウェアを使用すると、Dell Latitude L400 アドバンスポートリプリケータの機能に影響を与えずにノートブックコンピュータをサスペンド状態にしたり操作を開始したりすることができます。

Windows 2000 の電源オプションのプロパティ


ACPI 対応の Windows 2000 オペレーティングシステムには、省電力機能を設定する **電源オプションのプロパティ** ウィンドウがあります。独自の電源の設定を作成できるので、電源オプション機能を使ってコンピュータデバイスの電力消費を節減できます。

電源オプションのプロパティ ウィンドウにアクセスしたり、電力管理機能を設定するには、以下の手順を実行してください。

1. **スタート** ボタンをクリックし、**設定** から **コントロールパネル** をクリックします。
2. **電源オプション** アイコンをダブルクリックします。

電源オプションのプロパティ ウィンドウは、以下のようなタブを含みます。

- 1 **電源の設定** — 6 つの電源モード設定のいずれかを選択できます。

 **メモ:** ACPI が稼働しているシステムでは、スタンバイモード中、バッテリーの寿命が長くなるよう、電源設定で [ポータブル/ラップトップ] 設定を選択してください。[常にオン] が選択されていると、スタンバイモード中、バッテリーの寿命がかなり短くなることがあります。

- 1 **アラーム** — **バッテリー低下アラーム** および **バッテリー切れアラーム** を設定して、システムのバッテリー残量が一定レベルより低くなった場合に警告を表示することができます。出荷時には、**バッテリー低下アラーム** および **バッテリー切れアラーム** の各チェックボックスはオフになっています。これらのオプションはオンにしないことをお勧めします。
- 1 **電源メーター** — システムがバッテリーで稼働している場合にバッテリーの残量 (%) を表示できます。
- 1 **詳細** — 電源ボタン、スリープボタンおよびディスプレイを閉じる機能 (スタンバイ、休止状態または電源オフ) を指定します。 **詳細** タブで休止状態モードを有効にします。
- 1 **休止状態 (ACPI のみ)** — 休止状態機能を有効にします。

詳細は、**電源オプションのプロパティ** の Windows 2000 のヘルプを参照してください。

[目次ページに戻る](#)

[目次ページに戻る](#)

バッテリー: Dell™ Latitude™ L400 ユーザーズガイド

- [バッテリーについて](#)
- [バッテリーの低下を知らせる2回目のアラーム](#)
- [バッテリーの使い方](#)
- [バッテリーの問題検知](#)
- [バッテリーの充電](#)
- [バッテリーの廃棄](#)
- [高温のバッテリーの充電](#)
- [バッテリー電源](#)
- [バッテリーの交換](#)
- [バッテリー自動学習ユーティリティ](#)
- [バッテリー充電ゲージ](#)
- [コンピュータの起動](#)
- [バッテリーの低下を知らせる最初のアラーム](#)

バッテリーについて

コンピュータはコンセントが使用できない場合に、4電池式または6電池式のリチウムイオンバッテリーを装備しています。バッテリーはコンピュータの底面にあり、コンピュータの底面の一部のように見えます。リチウムイオンバッテリーは従来のバッテリーよりも寿命が長いので、頻繁に交換する必要がありません。また、再充電の前に完全に使いきる必要はありません。

使用済みのバッテリーは、家庭用の一般ごみと一緒に捨てないでください。詳しい情報は、「[バッテリーの廃棄](#)」を参照してください。

コンピュータをバッテリーで動作するときは、次の項目に留意してください。

- 1 バッテリーの駆動時間(フル充電による動作時間)は、設定されている電力管理設定機能と使用中のアプリケーションプログラムによって異なります。
- 1 [内蔵バッテリー充電ゲージ](#)は、バッテリーをコンピュータに取り付けた状態でも、また取り外した状態でもいつでも充電量をチェックできます。
- 1 バッテリーのセルフテスト機能は、充電量の低下などのバッテリーの状態を知らせます。

 **メモ:** バッテリーを完全に使い切ってしまうと、警告機能は作動しません。

- 1 [バッテリー自動学習ユーティリティ](#)を使うと、バッテリーゲージの正確性を維持することができます。
- 1 バッテリーは室温で300回までのフル充電が可能です。バッテリーは、時間がたつと性能が低下します。この時点では、初めの容量の約80%で動作しているはずですが。


注意: バッテリーはDell Latitude L400コンピュータ専用です。他のコンピュータで使用しないでください。また他のコンピュータのバッテリーでDell Latitude L400コンピュータを使用しないでください。

バッテリーの使い方

付属のバッテリーは、フルには充電されない状態で出荷されています。コンピュータをバッテリーで動作する場合は、ご使用前にバッテリーを最大容量まで充電されることをお勧めします。

コンピュータをバッテリーで動作する場合は、バッテリーの電力を節約するようにしてください。バッテリーによる動作時間は、以下のような要素に影響されます。


- 1 設定されている省電力機能の種類
- 1 コンピュータの内蔵ディスプレイとマイクロプロセッサの種類
- 1 ディスプレイの輝度設定
- 1 データを保存する媒体の使用
- 1 使用するPCカードや外付けデバイスの数と種類

 **メモ:** PCカードを、使用していない時に取り外すことによって、バッテリーの寿命を延ばすことができます。

- 1 実行するアプリケーションプログラムの種類
- 1 取り付けたメモリモジュールの容量(容量が多いほど、より多く電力を消費)


[スタンバイモード](#)(Microsoft® Windows NT® では[サスペンドモード](#))を起動すると、コンピュータはバッテリーで約1週間サスペンドモードの状態を維持することができます(サスペンドモードまたはスタンバイモードを起動する前にバッテリーがフル充電されている場合)。

コンピュータを保管する場合は、すべてのデバイスを取り外してコンピュータの電源を切ります。コンピュータを長期間保管しておく場合は、バッテリーを取り外します。バッテリーは使用しなくても、長期の保管中に消費します。長期保管後には、コンピュータをバッテリーで動作する前にバッテリーをフル充電してください。

 **メモ:** バッテリーの寿命を延ばすには、バッテリーを室温で保管してください。

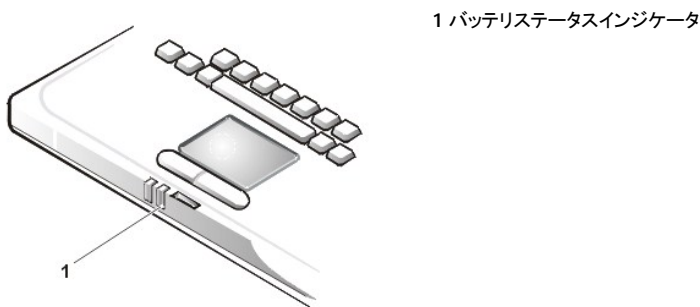
バッテリーの充電


コンピュータをコンセントに接続するたびに、またコンセントに接続されているコンピュータにバッテリーを取り付けるたびに、コンピュータはバッテリーの充電状態をチェックします。ACアダプタは必要に応じてバッテリーを充電し、充電量を維持します。

 **メモ:** バッテリーの性能を最大限まで引き出すため、バッテリーの充電は室温でのみおこなってください。

バッテリーが充電中は、通常バッテリーステータスインジケータ([図1](#)参照)が緑色に点灯し、充電が完了したら緑色に点滅します。コンピュータの電源が入っていてもいなくても、完全に充電するには約1時間半かかります。

図1 バッテリーステータスインジケータ



 **メモ:** バッテリーは長期間コンピュータに取り付けたままにしておいてもかまいません。バッテリーの内蔵回路が過剰充電を防ぎます。


高温のバッテリーの充電

バッテリーの温度が上がっている(コンピュータを使用していたため、また使用していた環境が高温のため)状態で充電する場合は、次の留意事項に注意してください。

- 1 ACアダプタをコンピュータに接続している場合、バッテリーの温度が高いと充電されません。これは、高温で充電してバッテリーの寿命を縮めたり、バッテリーやコンピュータが損傷することを防ぐための大切な機能です。
- 1 コンピュータが室温に下がらない場合は、バッテリーがフル充電される前に充電が停止されます。

バッテリーの交換

バッテリーベイのバッテリーを交換するには、次の手順を実行します([図2](#)参照)。

 **メモ:** 作業を始める前に、必要に応じてこれらの手順を参照用に印刷してください。

Dellでは、バッテリーの交換の前にコンピュータの電源を切ることをお勧めします。

コンピュータが動作している状態でバッテリーを交換するには、必ずコンピュータをコンセントに接続するか、[スタンバイモード](#)(または[サスペンドモード](#))、または[休止状態](#)(または[S2D\[Suspend-to-Disk\]](#))モードを起動してください。コンピュータがバッテリー電源で動作している場合は、バッテリーを交換することはできません。

1. コンピュータがドッキングされている場合は、ドッキングを解除します(ドッキングデバイスに付属のマニュアルを参照)。

注意: コンピュータをサスペンド(あるいはスタンバイ)モードにしてバッテリーを交換する場合、バッテリーの交換は2分以内に済ませてください。

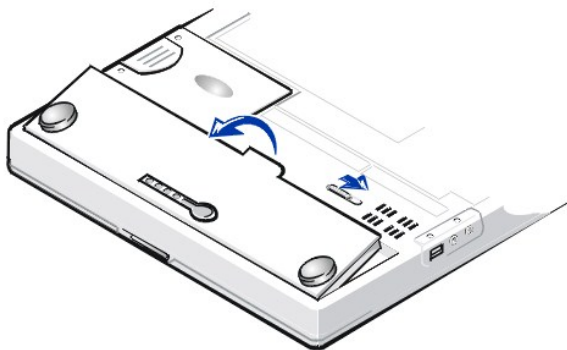
2. コンピュータをコンセントに接続し、サスペンド(あるいはスタンバイ)モードにして、データを保存します。

<Fn><Esc>(または[セットアップユーティリティ](#)の External Hot Key オプションが有効になっている場合は、外付けキーボードの<Scroll Lock><Esc>)を押します。

3. バッテリーをバッテリーベイから取り外します。

コンピュータのディスプレイを閉じ、コンピュータを裏返します。バッテリーベイのラッチを解除の位置 (図2参照) に動かすと、バッテリーの片側が少し外に出ます。片手でラッチを解除の位置で押さえたまま、もう一方の手でバッテリーを持ち上げて、バッテリーベイから取り出します。ラッチから手を離します。

図2 バッテリーの取り外し



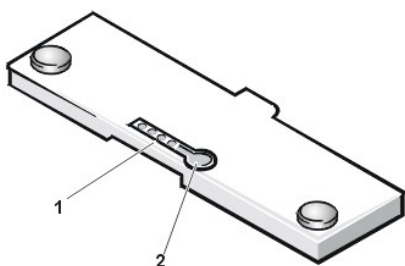
4. 新しいバッテリーを図2に示す位置に合わせ、外側の端をコンパートメントの中に下げます。
バッテリーの4つの小さなタブが、コンピュータの内側面の4つのスロットにかみ合います。
5. バッテリーを所定の位置にしっかり押し込み、周り凹凸がないようにします。
コンピュータを表にひっくり返す前に、ラッチが完全に閉じていることを確認します。
6. 手順2でコンピュータをスタンバイ(またはサスペンド)モードにした場合は、電源ボタンを押して通常の動作に戻します。

バッテリー充電ゲージ

コンピュータの底面にあるバッテリー充電ゲージは4つのインジケータと1つのテストボタンからなります。それぞれのインジケータはフル充電の25%を示します。インジケータが1つしか点灯しない場合は、バッテリーを充電してから使用してください。

充電レベルをチェックするには、バッテリーテストボタン (図3参照) を押します。バッテリーに残っている充電量に該当する数のインジケータが数秒間点灯します。

図3 バッテリー充電ゲージ



- 1 バッテリー充電インジケータ (4)
- 2 バッテリーテストボタン

メモ: 充電インジケータが小刻みに点滅した場合は、オーバーヒートなどの一時的な問題や、修復可能な問題を示します。バッテリーの温度を数分間下げてから、もう一度充電レベルをチェックしてください。

バッテリーが故障したか、あるいは完全に消耗した場合、バッテリーテストボタンを押しても、充電インジケータは点灯しません。問題のあるバッテリーや、完全に充電を使いきったバッテリーをコンピュータに取り付け、バッテリーステータスインジケータが赤色に点灯した場合、バッテリーに問題があることを示します。バッテリーステータスインジケータが赤色に点灯した場合、一晩バッテリーを充電し、翌日チェックしてください。バッテリーの充電を完全に使いきっている場合、充電には通常よりかなり長く時間がかかります。

新しいバッテリーをお求めの場合、[Dellにお問い合わせ](#)いただくか、Dellのウェブサイト<http://www.dell.com/jp/>をご覧ください。古いバッテリーは適切に廃棄してください。

充電量の残り

バッテリー充電ゲージには、インジケータランプが4つあり、バッテリーの充電量がどれだけ残っているかを示します。

- 1 インジケータランプが1つ点灯していたら、バッテリーの充電量は1 % ~ 25 %残っています。
- 1 インジケータランプが2つ点灯していたら、バッテリーの充電量は26 % ~ 50 %残っています。
- 1 インジケータランプが3つ点灯していたら、バッテリーの充電量は51 % ~ 75 %残っています。
- 1 インジケータランプが4つ点灯していたら、バッテリーの充電量は76 % ~ 100 %残っています。

バッテリーの低下を知らせる最初のアラーム

バッテリーが低下した場合の操作は、オペレーティングシステムによって異なります。

- 1 Windows 98、Windows 2000、またはWindows MeなどのACPI (Advanced Configuration and Power Interface) 対応システムの場合は、バッテリーの低下の通知および処置を**電源の管理のプロパティ** ウィンドウ (Windows 98またはWindows Me) または **電源オプションのプロパティ** ウィンドウ (Windows 2000) を使って設定できます。
- 1 Windows NTなどのAPM (Advanced Power Management) 対応システムの場合、コンピュータがコンセントに接続されておらず、現在の使用状態でバッテリー残量が20分以下になると、バッテリーの低下を知らせる最初のアラームが発生します。バッテリーの低下を知らせる最初のアラームは3つの方法で示されます。これらは、画面上へのバッテリー警告アイコンの表示、スピーカーからの3つの音からなるビープ音、およびバッテリーステータスインジケータ(図1参照)の橙色の点滅です。

注意: バッテリーの低下を知らせるアラームが発せられた場合は、すぐに作業中のファイルを保存し、**バッテリーを交換**するか、またはコンピュータをコンセントに接続してください。

バッテリーの低下を知らせる2回目のアラーム

バッテリーが低下した場合の操作は、オペレーティングシステムによって異なります。

- 1 Windows 98、Windows 2000、またはWindows MeなどのACPI 対応システムの場合は、バッテリーの低下の通知および処置を**電源の管理のプロパティ** ウィンドウ (Windows 98またはWindows Me) または **電源オプションのプロパティ** ウィンドウ (Windows 2000) を使って設定できます。
 - 1 Windows NTなどのAPM対応システムの場合、コンピュータがコンセントに接続されておらず、現在の使用状態でバッテリー残量が約15分になると、バッテリーの低下を知らせる2回目のアラームが発生します。バッテリーの低下を知らせる2回目のアラームは3つの方法で示されます。バッテリーステータスインジケータ(図1参照)が橙色に点灯したままになります。また、スピーカーからの3つのビープ音が発せられ、ビープ音の後すぐコンピュータは**サスペンド**モードになります。
- 2、3秒内にI/O(入出力)動作が起らない場合、コンピュータは**S2Dモード**になります。コンピュータにS2Dファイルがない場合、サスペンドモードのままです。その状態でデータを数時間保存できます。


バッテリーの低下を知らせる2回目のアラームが発生した場合に、コンピュータが既にサスペンドモードの状態であれば、コンピュータは即座にS2Dモードになります。S2Dモードが無効にされている場合は、コンピュータはサスペンドモードに戻ります。

注意: データの損失(およびハードディスクドライブのデータ領域の破損)を避けるために、バッテリーの低下を知らせる2回目の警告が発せられたら、すぐに作業中のファイルを保存してください。その後、コンピュータをコンセントに接続するか、コンピュータをサスペンド(あるいはスタンバイ)モードにしてください。バッテリーが完全に消耗すると、コンピュータは開いているファイルを適切に保存せずに終了します。


バッテリーの問題検知


問題のあるバッテリーは最大電位まで充電されなかったり、予期せぬ動作をする可能性があります。新しいバッテリーをお求めになる場合は、[Dellにお問い合わせ](#)いただくかDellのホームページ<http://www.dell.com/jp/>をご覧ください。

問題のあるバッテリーを取り付けないためには、最初にバッテリーテストボタン(図3参照)を押してバッテリーにある充電インジケータを確認してください。

-  **メモ:** バッテリーの充電量が0%の場合、バッテリーテストボタンではバッテリーの容量をチェックすることはできません。バッテリーの充電量を完全に使い切ると、バッテリー充電インジケータは点灯しません。

バッテリーの廃棄

-  **警告:** 大変危険ですのでバッテリーに穴をあけたり、燃やしたりしないでください。

-  **メモ:** 新しいバッテリーをお求めの場合、[Dellにお問い合わせ](#)いただくか、Dellのウェブサイト<http://www.dell.com/jp/>をご覧ください。


お使いのコンピュータシステムは、リチウムイオンバッテリーパックとコイン型ニッケルメタル水素(NIMH)バッテリーの両方を使います。リチウムイオンバッテリーパックの交換の手順に関しては、「[バッテリーの交換](#)」を参照してください。NIMHバッテリーの寿命は大変長いので、交換の必要がないかもしれませんが、交換が必要な場合、認定を受けたサービス技術者にご相談ください。

使用済みのバッテリーは、家庭の一般ごみと一緒に捨てないでください。バッテリーの回収施設については、お近くの市役所などの行政機関にお問い合わせください。

バッテリー電源

コンピュータをコンセントに接続して使用すると、自動的にバッテリーを節電できます。また、コンセントに接続している間にバッテリーは再充電されます。バッテリーの寿命は充電回数に大きく影響されるため、使用可能な場合はコンセントに接続してコンピュータを動作させてください。

コンピュータの**電力管理機能**を個別に設定して、電力管理をカスタマイズすることができます。これらの電力管理機能は、アプリケーションプログラムおよびデバイスの動作状況を監視して、活動していないデバイスや部品を遅くしたり停止したりすることによって、消費電力を抑えます。

 **メモ:** 電力管理機能を設定すると、バッテリーによるコンピュータの使用時間は長くなりますが、コンピュータの性能の一部が制限されることがあります。たとえば、ハードディスクドライブを停止するよう設定した場合、次にコンピュータがハードディスクドライブにアクセスすると、多少時間がかかることがあります。


また、**サスペンド**(あるいは**スタンバイ**)モードのようにほとんどすべてのシステムの動作を停止させるものもあります。作業を中断するときにこれらのモードを起動すると、電力を最大限に節約することができます。

省電力機能を活用して、作業環境に最適な電力管理をおこなってください。


バッテリー自動学習ユーティリティ

バッテリー自動学習ユーティリティは、システムのセットアップユーティリティから利用でき、お使いのLatitude L400コンピュータのバッテリーゲージの正確さを維持するのに役に立ちます。

このユーティリティを使って、バッテリーにフル充電の容量を記憶させることができます。コンピュータは、フル充電容量値を使って、1回の充電で動作できるバッテリーの持続時間を決定します。間違ったフル充電容量値では、コンピュータは間違ったバッテリーの残り時間をオペレーティングシステムに報告するので、実際のバッテリーの残り時間より短くなる可能性があります。

 **メモ:** フル充電容量は、バッテリーによって異なることがあり、またバッテリーが充電と放電回数を重ねる毎に減っていく可能性があります。


ユーティリティを実行するには、**セットアップユーティリティ**のPower画面で、Run Battery Learningオプションを使います。

 **メモ:** 学習プロセスは、完了するのに最大で6時間かかることがあります。<Esc>を押すと、いつでもプロセスを中止できます。

バッテリーゲージの正確さに疑問がある場合、このユーティリティをお使いください。ユーティリティの実行は、2ヶ月に1回以下にしてください。ユーティリティをこれ以上実行すると、バッテリーの寿命が短くなります。

コンピュータの起動

コンピュータの電源を入れるには、**電源ボタン**を押します。

 **メモ:** お使いのコンピュータのオペレーティングシステムが「ロック」してコマンドに応答しない場合、電源ボタンを5秒以上押し続けてコンピュータの電源を切ってください。

オペレーティングシステムがロックして電源ボタンに反応しない場合、コンピュータの底にあるリセットスイッチを使って再起動することができます。再起動するには、クリップを真っ直ぐ伸ばして、**リセットスイッチホール**に約1秒押し込みます。

[目次ページに戻る](#)

[目次ページに戻る](#)

CD-ROM、DVD-ROMおよびCD-RWドライブ: Dell™ Latitude™ L400 ユーザーズガイド

- [ドライブの使い方](#)
- [CD、DVDおよびCD-RWディスクの取り扱い](#)
- [サポートするディスクのタイプ](#)

ドライブの使い方

CD-ROMおよびDVD-ROMドライブは読み込み専用のデバイスで、市販されているほとんどの8 cmまたは12 cmのオーディオCDとビデオCDを再生することができます。CD-RWドライブは、CD-RWの記録再生およびCDの再生ができます。適切なCD-ROMとCD-RWのデバイスドライブがハードディスクドライブにプリインストールされています。また、DVD-ROMドライブで、ほとんどのCDの再生を可能にするドライブ、およびDVDからデータを読み込むためのドライブもプリインストールされています。

これらのデバイスの1つを、コンピュータの[メディアベイ](#)に取り付けて使用します。

注意:メディアベイから取り出したドライブは大切に扱ってください。ドライブを押さえつけたり上部に物を置いたりすると、ドライブモータを破損する可能性があります。また、ドライブはできるだけ清潔にしておいてください。

ディスクを再生するには、まずドライブ正面のイジェクトボタンを押すか、または<Fn><e>を押します。トレイが出てきたら、ラベル面を上にしてCDまたはDVDをトレイに置きます。ディスクはトレイの回転軸に合わせて置き、カチッと音がするまで押し込んでください。次にトレイを静かに押し込みます。

注意:ディスクを正しく置かないと、ディスクやドライブが破損することがあります。

注意:コンピュータの動作中に、ドライブを使用しないでください。ドライブと、ハードディスクまたはディスクドライブとのデータのやり取りが中断されることがあります。

ドライブの使用中は、[ドライブインジケータ](#)が点滅します。

Microsoft® Windows® 98オペレーティングシステムをご使用の場合、CD-ROMまたはDVD-ROMドライブを使用中は自動再生機能を無効にしてください(自動再生機能がコンピュータの[電源管理機能](#)を妨害する場合があります)。オペレーティングシステムがプリインストールされていた場合、自動再生機能は無効に設定されています。再インストール、またユーザ自身がオペレーティングシステムをインストールされる場合は、CD-ROMまたはDVD-ROMを使用するには自動再生機能を無効にしてください。

挿入の自動通知の項目の変更方法については、オペレーティングシステムのマニュアルを参照してください。

CD、DVDおよびCD-RWディスクの取り扱い

ディスクの取り扱いと使い方については、次の留意事項に従ってください。

- 1 損傷または変形したディスクを使わないでください。
- 1 ディスクは必ず端を持ってください。ディスクの表面に触れないようにしてください。
- 1 ディスクの表面にあるほこり、汚れ、または指紋を取るときには、清潔な乾いた布で拭きます。拭く際には、ディスクの中心から端に向かって拭いてください。
- 1 ベンジン、レコードクリーナ、帯電防止スプレーなどを使用しないでください。
- 1 ディスクの表面に筆記具で文字などを書き込まないでください。
- 1 ディスクはケースに入れ、湿気のない涼しい場所に保管してください。高温により、ディスクが損傷することがあります。
- 1 ディスクを曲げたり落としたりしないでください。
- 1 ディスクの上に物を重ねて置かないでください。

サポートするディスクのタイプ

ご使用のコンピュータのCD-ROM、DVD-ROMおよびCD-RWドライブでは、次のタイプのディスクフォーマットが再生できます。

- 1 CD-ROM REDブックオーディオディスク(CD-DA)
- 1 CD-ROM YELLOWブックモード1およびモード2データディスク
- 1 CD-ROM XA (モード-2 フォーム1およびフォーム2、ADPCM[Adaptive Differential Pulse Code modulation]なし)

- 1 CD-I (モード-2 フォーム1およびフォーム2)
 - 1 CD-I Ready
 - 1 CD-ブリッジ
 - 1 Photo CD、CD-R (シングルおよびマルチセッション)
 - 1 Video CD
 - 1 CD-RW (24x CD-ROMおよびDVD-ROMドライブはCD-RWディスクの読み込みはできますが、書き込みはできません。CD-RWドライブだけがこのタイプのディスクに書き込みができます。)
 - 1 DVD-5 (DVD-ROMドライブはDVD-5フォーマットをサポート)
-

[目次ページに戻る](#)

[目次ページに戻る](#)

Dellへのお問い合わせ: Dell™ Latitude™ L400 ユーザーズガイド

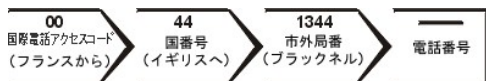
- [概要](#)
- [国際電話アクセスコード](#)
- [南北アメリカお問い合わせ番号](#)
- [ヨーロッパお問い合わせ番号](#)
- [アジアおよびその他の地域のお問い合わせ番号](#)

概要

Dellへお問い合わせになる場合は、次の電話番号、電子アドレスをご利用ください。「[国際電話コード](#)」は、長距離電話と国際電話をおかけになる際に必要な番号の一覧です。「[南北アメリカお問い合わせ番号](#)」、「[ヨーロッパお問い合わせ番号](#)」、および「[アジアおよびその他の地域のお問い合わせ番号](#)」は、世界各国の支所またはサービス拠点の、市外局番、フリーダイヤル番号、ウェブサイトおよび電子メールアドレスの一覧です。

海外へおかけになる場合は、電話番号に加えて「[国際電話コード](#)」が必要となります。


たとえば、フランスのパリからイギリスのブラックネルへ電話する場合は、次の図のように、フランス国内で指定の国際電話アクセスコード、イギリスの国番号、ブラックネルの市外局番、最後に電話番号になります。



国内の長距離電話の場合は、国際電話アクセスコード、国番号を省略し、受信先の市外局番から使用します。たとえば、フランスのモンペリエからフランスのパリへ電話する場合は、次の図のように、市外局番、電話番号の順にダイヤルします。



どのコードを選択するかは、どこから電話をかけるか、また受信先によっても異なります。さらに、国によって国際電話のかけ方も変わってきます。国際電話のかけ方については、国内または国際電話会社にお問い合わせください。

 **メモ:**フリーダイヤル番号は、その番号が記載されている国でのみ使用できます。市外局番は、国内長距離電話の際にご使用ください。

国際電話コード

お問い合わせ番号を確認するには、それぞれの国をクリックしてください。

国(都市)	国際電話アクセスコード	国番号	市外局番
オーストラリア (シドニー)	0011	61	2
オーストラリア (ウィーン)	900	43	1
ベルギー (ブリュッセル)	00	32	2
ブラジル	0021	55	51
ブルネイ	—	673	—
カナダ (オンタリオ州、ノースヨーク)	011	—	不要
チリ (サンティアゴ)	—	56	2
中国 (厦門)	—	86	592
チェコ共和国 (プラハ)	00	420	2
デンマーク (オスロ)	009	45	不要
フィンランド (ヘルシンキ)	990	358	9
フランス (パリ)(モンペリエ)	00	33	(1) (4)
ドイツ (ランゲン)	00	49	6103
香港	001	852	不要

アイルランド(ブレイ)	16	353	1
イタリア(ミラノ)	00	39	2
日本(川崎)	001	81	44
韓国(ソウル)	001	82	2
ルクセンブルグ	00	352	—
マカオ	—	853	不要
マレーシア(ベナン)	00	60	4
メキシコ(コロニアグラナダ)	95	52	5
オランダ(アムステルダム)	00	31	20
ニュージーランド	00	64	—
ノルウェー(リサケー)	095	47	不要
ポーランド(ワルシャワ)	011	48	22
ポルトガル	00	35	—
シンガポール(シンガポール)	005	65	不要
南アフリカ(ヨハネスブルグ)	09/091	27	11
スペイン(マドリッド)	07	34	91
スウェーデン(アップランズヴェスビー)	009	46	8
スイス(ジュネーブ)	00	41	22
台湾	002	886	—
タイ	001	66	—
イギリス(ブラックネル)	010	44	1344
米国(テキサス州オーステン)	011	1	不要

南北アメリカお問い合わせ番号

国(都市)	部署名またはサービス内容	市外局番	市内番号またはフリーダイヤル
ブラジル	カスタマーサポート、テクニカルサポート		フリーダイヤル: 0800 90 3355
	セールス		フリーダイヤル: 0800 90 3366
	ウェブサイト: http://www.dell.com/br		
カナダ (オンタリオ州ノースヨーク)	自動オーダーステータスシステム		フリーダイヤル: 1-800-433-9014
	AutoTech(自動テクニカルサポート)		フリーダイヤル: 1-800-247-9362
	カスタマーケア(トロント市外から)		フリーダイヤル: 1-800-387-5759
	カスタマーケア(トロント市内から)	416	758-2400
	カスタマーテクニカルサポート		フリーダイヤル: 1-800-847-4096
	セールス(ダイレクトセールス、トロント市外から)		フリーダイヤル: 1-800-387-5752
	セールス(ダイレクトセールス、トロント市内から)	416	758-2200
	セールス(連邦政府、教育、医療)		フリーダイヤル: 1-800-567-7542
	セールス(大口顧客)		フリーダイヤル: 1-800-387-5755
TechFax		フリーダイヤル: 1-800-950-1329	
チリ (サンティアゴ)	セールス、カスタマーケア、テクニカルサポート		フリーダイヤル: 1230-020-4823
	メモ: チリからセールス、カスタマーケア、テクニカルサポートにお問い合わせの場合は米国の番号をご利用ください。		
ラテンアメリカ	カスタマーテクニカルサポート(米国、テキサス州オーステン)	512	728-4093

メモ:ラテンアメリカからセールス、カスタマーケア、テクニカルサポートにお問い合わせの場合は米国の番号をご利用ください。	カスタマーケア(米国、テキサス州オースチン)	512	728-3619
	Fax(テクニカルサポートおよびカスタマーケア)(米国、テキサス州オースチン)	512	728-3883
	セールス(米国、テキサス州オースチン)	512	728-4397
	セールスFax(米国、テキサス州オースチン)	512	728-4600 728-3772
メキシコ (コロニアグラナダ) メモ:メキシコから自動応答システムおよびAutoTechにお問い合わせの場合は米国の番号をご利用ください。	自動オーダーステータスシステム(米国、テキサス州オースチン)	512	728-0685
	Auto Tech(自動テクニカルサポート)(米国、テキサス州オースチン)	512	728-0686
	カスタマーテクニカルサポート	525	228-7870
	セールス	525	228-7811 フリーダイヤル:91-800-900-37 フリーダイヤル:91-800-904-49
	カスタマーケア	525	228-7878
	代表	525	228-7800
米国 (テキサス州オースチン)	自動オーダーステータスシステム		フリーダイヤル:1-800-433-9014
	AutoTech(ノートブックおよびデスクトップコンピュータ用)		フリーダイヤル:1-800-247-9362
	Dell Home and Small Businessグループ(ノートブックおよびデスクトップコンピュータ用):		
	カスタマーテクニカルサポート(製品返送確認ナンバー)		フリーダイヤル:1-800-624-9896
	カスタマーテクニカルサポート(http://www.dell.com から購入の個人のお客様用)		フリーダイヤル:1-877-576-3355
	カスタマーケア(返金確認ナンバー)		フリーダイヤル:1-800-624-9897
	ナショナルアカウント システムをお求めになったDell既定のナショナルアカウントのお客様(アカウントナンバーをお手元にご用意ください)、医療機関、またはVAR(value-added reseller)の場合:		
	カスタマーケアおよびテクニカルサポート(製品返送確認ナンバー)		フリーダイヤル:1-800-822-8965
	Public Americasインターナショナル (Dellシステムをお求めになった政府機関または教育機関の場合):		
	カスタマーケアおよびテクニカルサポート(製品返送ナンバー)		フリーダイヤル:1-800-234-1490
	Dellセールス		フリーダイヤル:1-800-289-3355 フリーダイヤル:1-800-879-3355
	交換部品販売		フリーダイヤル:1-800-357-3355
	DellWare™		フリーダイヤル:1-800-753-7201
	有料テクニカルサポート		フリーダイヤル:1-800-433-9005
	サーバ有料テクニカルサポート		フリーダイヤル:1-800-967-0765
	セールス(カタログ)		フリーダイヤル:1-800-426-5150
	Fax		フリーダイヤル:1-800-727-8320
	TechFax		フリーダイヤル:1-800-950-1329
	聴覚・言語障害者のためのサービス		フリーダイヤル:1-877-DELLTTY (1-877-335-5889)
	代表	512	338-4400
	Dellnet テクニカルサポート		フリーダイヤル:1-877-Dellnet (1-877-335-5638)

ヨーロッパお問い合わせ番号

国(都市)	部門名またはサービス	市外局番	市内番号またはフリーダイヤル
オーストリア (ウィーン)	Home/Small Businessセールス	01	795 67602
	Home/Small Business セールス Fax	01	795 67605

メモ: オーストリアでご使用の場合は、テクニカルサポートについてはドイツのランゲンの電話番号をご利用ください。	Home/Small Business カスタマーケア	01	795 67603
	優先アカウント/法人カスタマーケア		0660 8056
	Home/Small Business テクニカルサポート	01	795 67604
	優先アカウント/法人テクニカルサポート		0660 8779
	代表	01	491 040
	Webサイト: http://support.euro.dell.com		
	電子メール: tech_support_germany@dell.com		
ベルギー (ブリュッセル)	テクニカルサポート	02	481 92 88
	カスタマーケア	02	481 91 19
	Home/Small Businessセールス		フリーダイヤル:0800 16884
	法人セールス	02	481 91 00
	Fax	02	481 92 99
	代表	02	481 91 00
	Webサイト: http://support.euro.dell.com		
	電子メール: tech_be@dell.com		
チェコ共和国 (プラハ)	テクニカルサポート	02	22 83 27 27
	カスタマーケア	02	22 83 27 11
	Fax	02	22 83 27 14
	TechFax	02	22 83 27 28
	代表	02	22 83 27 11
	Webサイト: http://support.euro.dell.com		
	電子メール: czech_dell@dell.com		
デンマーク (オスロ)	テクニカルサポート		45170182
	リレーショナルカスタマーケア(OptiPlex、Workstation、Latitude)		45170184
	Home/Small Business カスタマーケア		32875505
	代表		45170100
	Faxテクニカルサポート(スウェーデン、アップランズヴェズビー)		859005594
	Fax代表		45170117
	Webサイト: http://support.euro.dell.com		
電子メール: den_support@dell.com			
フィンランド (ヘルシンキ)	テクニカルサポート	09	253 313 60
	テクニカルサポート Fax	09	253 313 81
	リレーショナルカスタマーケア(OptiPlex、Workstation、Latitude)	09	253 313 38
	Home/Small Business カスタマーケア	09	693 791 94
	Fax	09	253 313 99
	代表	09	253 313 00
	Webサイト: http://support.euro.dell.com		
	電子メール: fin_support@dell.com		
フランス (パリ・モンペリエ)	Home/Small Business		
	テクニカルサポート	0825	387 270
	カスタマーケア	0825	823 833
	代表	0825	004 700
	代表(選択可)	04	99 75 40 39
	セールス	0825	004 700
	Fax	0825	004 701

	Webサイト: http://support.euro.dell.com		
	電子メール: web_fr_tech@dell.com		
	法人		
	テクニカルサポート	0825	004 719
	カスタマーケア	0825	338 339
	代表	01	55 94 71 00
	Fax	01	55 94 71 99
	Webサイト: http://support.euro.dell.com		
	電子メール: web_fr_tech@dell.com		
ドイツ (ランゲン)	テクニカルサポート	06103	766-7200
	テクニカルサポートFax	06103	766-9222
	Home/Small Business カスタマーケア		0180-5-224400
	グローバルカスタマーケア	06103	766-9570
	優先アカウントカスタマーケア	06103	766-9420
	大口アカウントカスタマーケア	06103	766-9560
	公共機関アカウントカスタマーケア	06103	766-9555
	代表	06103	766-7000
	Webサイト: http://support.euro.dell.com		
	電子メール: tech_support_germany@dell.com		
アイルランド (ブレイ)	テクニカルサポート		0870 908 0800
	カスタマーケア	01	204 4026
	セールス	01	286 0500
	セールスFax	01	286 2020
	Fax	01	0870 907 5590
	代表	01	286 0500
	ウェブサイト: http://support.euro.dell.com		
	電子メール: dell_direct_support@dell.com		
イタリア (ミラノ)	Home/Small Business		
	テクニカルサポート	02	577 826 90
	カスタマーケア	02	696 821 14
	Fax	02	696 824 13
	代表	02	696 824 12
	Webサイト: http://support.euro.dell.com		
	電子メール: web_it_tech@dell.com		
	法人		
	テクニカルサポート	02	575 826 90
	カスタマーケア	02	575 825 55
	Fax	02	575 035 30
	代表	02	577 821
	Webサイト: http://support.euro.dell.com		
	電子メール: web_it_tech@dell.com		
ルクセンブルグ メモ: ルクセンブルグか	テクニカルサポート(ベルギー、ブリュッセル)	02	481 92 88
	Home/Small Business セールス (ベルギー、ブリュッセル)		フリーダイヤル: 080016884

ら、セールス、カスタマーケア、およびテクニカルサポートにお問い合わせの場合はベルギーの番号をご利用ください。	法人セールス (ベルギー、ブリュッセル)	02	481 91 00
	カスタマーケア(ベルギー、ブリュッセル)	02	481 91 19
	Fax(ベルギー、ブリュッセル)	02	481 92 99
	代表(ベルギー、ブリュッセル)	02	481 91 00
	Webサイト: http://support.euro.dell.com		
	電子メール: tech_be@dell.com		
オランダ (アムステルダム)	テクニカルサポート	020	581 8838
	カスタマーケア	020	581 8740
	Home/Small Businessセールス		フリーダイヤル: 0800-0663
	Home/Small Business セールスFax	020	682 7171
	法人セールス	020	581 8818
	法人セールスFax	020	686 8003
	Fax	020	686 8003
	代表	020	581 8818
	Webサイト: http://support.euro.dell.com		
	電子メール: tech_nl@dell.com		
ノルウェー (リサケー)	テクニカルサポート		671 16882
	リレーショナルカスタマーケア (OptiPlex、Workstation、Latitude)		671 17514
	Home/Small Business カスタマーケア		231 62298
	代表		671 16800
	Faxテクニカルサポート(スウェーデン、アップランズヴェズビー)		590 05 594
	Fax代表		671 16865
	Webサイト: http://support.euro.dell.com		
電子メール: nor_support@dell.com			
ポーランド (ワルシャワ)	テクニカルサポート	22	57 95 700
	カスタマーケア	22	57 95 999
	セールス	22	57 95 999
	Fax	22	57 95 998
	代表	22	57 95 998
	Webサイト: http://support.euro.dell.com		
	電子メール: pl_support@dell.com		
ポルトガル	テクニカルサポート		800 834 077
	カスタマーケア		34 902 118 540 または 800 834 075
	セールス		800 834 075
	Fax		35 121 424 01 12
	代表		34 917 229 200
スペイン (マドリード)	Home/Small Business		
	テクニカルサポート		902 100 130
	カスタマーケア		902 118 540
	セールス		902 118 541
	代表		902 118 541
	Fax		902 118 539
	Webサイト: http://support.euro.dell.com		
	電子メール: web_esp_tech@dell.com		
法人			

	テクニカルサポート		902 100 130
	カスタマーケア		902 118 546
	代表	91	722 92 00
	Fax	91	722 95 83
	Webサイト: http://support.euro.dell.com		
	電子メール: web_esp_tech@dell.com		
スウェーデン (アップランズヴェスビー)	テクニカルサポート	08	590 05 199
	リレーショナルカスタマーケア(OptiPlex、Workstation、Latitude)	08	590 05 642
	Home/Small Business カスタマーケア	08	587 70 527
	Faxテクニカルサポート	08	590 05 594
	セールス	08	590 05 185
	Webサイト: http://support.euro.dell.com		
	電子メール: swe_support@dell.com		
スイス (ジュネーブ)	テクニカルサポート (Home/Small Business)		0844 811 411
	テクニカルサポート(法人)		0844 822 844
	カスタマーケア		0848 802 802
	Fax	022	799 01 90
	代表	022	799 01 01
	Webサイト: http://support.euro.dell.com		
	電子メール: swisstech@dell.com		
イギリス (ブラックネル)	テクニカルサポート(法人/優先アカウント/PAD[従業員1000名以上])		0870 908 0500
	テクニカルサポート(ダイレクト/PADおよび一般)		0870 908 0800
	グローバルアカウントカスタマーケア	01344	723186
	法人カスタマーケア	01344	723185
	優先アカウントカスタマーケア(従業員 500-5000名)	01344	723196
	中央政府機関カスタマーケア	01344	723193
	地方政府機関カスタマーケア	01344	723194
	Home/Small Businessセールス		0870-907-4000
	法人/公共機関セクターセールス	01344	860456
	Webサイト: http://support.euro.dell.com		
	電子メール: dell_direct_support@dell.com		

アジアおよびその他地域のお問い合わせ番号

国(都市)	部署名またはサービス内容	市外局番	市内番号またはフリーダイヤル
オーストラリア (シドニー)	Home and Small Business		1-300-65-55-33
	Government and Business		フリーダイヤル: 1-800-633-559
	PAD(優先アカウント部門)		フリーダイヤル: 1-800-060-889
	カスタマーケア		フリーダイヤル: 1-800-819-339
	法人セールス		フリーダイヤル: 1-800-808-385
	Dimension/Inspironセールス		フリーダイヤル: 1-800-808-312
	Fax		フリーダイヤル: 1-800-818-341
ブルネイ メモ:ブルネイから、カスタマーケアにお問い合わせの場合はマレーシアの番号をご利用ください。	カスタマーテクニカルサポート (マレーシア、ペナン)		604 633 4966
	カスタマーケア (マレーシア、ペナン)		604 633 4949
	Dimension/Inspironセールス(マレーシア、ペナン)		604 633 4955

中国 (廈門)	テクニカルサポート		フリーダイヤル: 800 858 2437
	カスタマーエクスペリエンス		フリーダイヤル: 800 858 2060
	Home/Small Business		フリーダイヤル: 800 858 2222
	優先アカウント部門		フリーダイヤル: 800 858 2062
	大口法人アカウント		フリーダイヤル: 800 858 2999
香港 メモ: 香港から、カスタマーケアにお問い合わせの場合はマレーシアの番号をご利用ください。	テクニカルサポート		フリーダイヤル: 800 96 4107
	カスタマーケア(マレーシア、ペナン)		604 633 4949
	Dimension/Inspironセールス		フリーダイヤル: 800 96 4109
	法人セールス		フリーダイヤル: 800 96 4108
日本 (川崎)	テクニカルサポート(サーバ)		フリーダイヤル: 0120-1984-35
	テクニカルサポート(Dimension™ および Inspiron™)		フリーダイヤル: 0120-1982-56 または0088-25-3355
	テクニカルサポート(ワークステーション、OptiPlex™ および Latitude™)		フリーダイヤル: 0120-1984-39 または0088-22-7890
	カスタマーケア	044	556-4240
	24時間納期情報案内サービス	044	556-3801
	ダイレクトセールス部	044	556-3344
	法人営業部	044	556-3433
	LCA営業部	044	556-3430
	Faxboxサービス	03	5972-5840
	代表	044	556-4300
ウェブサイト: http://support.jp.dell.com			
韓国 (ソウル) メモ: 韓国から、カスタマーケアにお問い合わせの場合はマレーシアの番号をご利用ください。	テクニカルサポート		フリーダイヤル: 080-200-3800
	セールス		フリーダイヤル: 080-200-3777
	カスタマーケア(ソウル、韓国)		2194-6220
	カスタマーケア(マレーシア、ペナン)		604-633-4949
	Fax		2194-6202
代表		2194-6000	
マカオ メモ: マカオからカスタマーケアにお問い合わせの場合はマレーシアの番号をご利用ください。	テクニカルサポート		フリーダイヤル: 0800 582
	カスタマーケア(マレーシア、ペナン)		604 633 4949
	Dimension/Inspironセールス		フリーダイヤル: 0800 581
マレーシア (ペナン)	テクニカルサポート		フリーダイヤル: 1 800 888 298
	カスタマーケア	604	633 4949
	Dimension/Inspironセールス		フリーダイヤル: 1 800 888 202
	法人セールス		フリーダイヤル: 1 800 888 213
ニュージーランド	Home and Small Business		0800 446 255
	Government and Business		0800 444 617
	セールス		0800 441 567
	Fax		0800 441 566
シンガポール (シンガポール) メモ: シンガポールからカスタマーケアにお問い合わせの場合はマレーシアの番号をご利用ください。	テクニカルサポート		フリーダイヤル: 800 6011 051
	カスタマーケア(マレーシア、ペナン)	604	633 4949
	Dimension/Inspironセールス		フリーダイヤル: 800 6011 054
	法人セールス		フリーダイヤル: 800 6011 053
南アフリカ (ヨハネスブルグ)	テクニカルサポート	011	709 7710
	カスタマーケア	011	709 7707
	セールス	011	706 7700

	Fax	011	709 0495
	代表	011	709 7700
	Webサイト: http://support.euro.dell.com		
	電子メール: dell_za_support@dell.com		
東南アジア／太平洋各国 (オーストラリア、ブルネイ、中国、香港、日本、韓国、マカオ、マレーシア、ニュージーランド、シンガポール、台湾、タイを除く - これらの国々については個々のリストを参照してください)。	カスタマーテクニカルサポート、カスタマーケア、セールス(マレーシア、ペナン)		604 633 4810
台湾	テクニカルサポート		フリーダイヤル: 0080 60 1225
	テクニカルサポート(サーバ)		フリーダイヤル: 0080 60 1256
	Dimension/Inspironセールス		フリーダイヤル: 0080 651 228/0800 33 556
	法人セールス		フリーダイヤル: 0080 651 227/0800 33 555
タイ メモ: タイからカスタマーケアにお問い合わせの場合はマレーシアの番号をご利用ください。	テクニカルサポート		フリーダイヤル: 088 006 007
	カスタマーケア(マレーシア、ペナン)		604 633 4949
	セールス		フリーダイヤル: 088 006 009

[目次ページに戻る](#)

[目次ページに戻る](#)

コンピュータのカスタマイズ: Dell™ Latitude™ L400 ユーザーズガイド

- [セットアップユーティリティの使い方](#)
 - [電力管理設定](#)
 - [Suspend-to-Diskユーティリティ](#)
-

[目次ページに戻る](#)

[目次ページに戻る](#)

Dell™ 診断プログラム: Dell Latitude™ L400 ユーザーズガイド

- [概要](#)
- [Dell診断プログラムのメイン画面の概要](#)
- [Dell診断プログラムの特徴](#)
- [システム設定情報の確認](#)
- [いつDell診断プログラムを使用するか](#)
- [Dell診断プログラムの使い方](#)
- [Dell診断プログラムの起動](#)

概要

Dell診断プログラムは、一般の多くの診断プログラムとは異なり、コンピュータのハードウェアのチェックをおこなう際に、専用の装置を使う必要もなく、またデータを破壊することはありません。診断プログラムを使用することによって、コンピュータシステムの動作の信頼性を高めることができます。ユーザー自身では解決できない問題が見つかった場合、診断テストを実行すれば、Dellのテクニカルサポートの担当者が適切な技術サポートをおこなうための重要な情報が得られます。

注意: Dell診断プログラムは、Dellコンピュータシステム専用のもので、このプログラムを他のコンピュータで使用すると、コンピュータが間違った反応を示したり、エラーメッセージが表示されることがあります。

Dell診断プログラムの特徴

Dell診断プログラムには、特定のテストグループまたはサブテストを選択するための一連のメニューと項目があります。テストを実行する順序をご自身で調整してください。診断テストグループまたはサブテストには、次の有効な機能があります。


- 1 テストを個別に実行するか、またはまとめて実行するかを選択できます。
- 1 テストグループまたはサブテストを繰り返す回数が設定できます。
- 1 テスト結果の画面への表示、印刷、ファイルへの保存ができます。
- 1 エラーが検出された場合に一時的にテストを中断したり、エラーがあらかじめ設定された数に達したときに自動的にテストを終了するように設定できます。
- 1 Devicesメニューは、各テストとそのパラメータについて簡単に説明します。
- 1 Configメニューは、選択したデバイスグループ内のデバイスの構成について説明します。
- 1 テストグループまたはサブテストが正常終了したかどうかを知らせるステータスメッセージを表示します。
- 1 問題が検出されたときに、エラーメッセージを表示します。

いつDell診断プログラムを使用するか

コンピュータの主要コンポーネントやデバイスが正しく機能しないときは、それらが故障している可能性があります。コンピュータのマイクロプロセッサと入出力装置(モニター、キーボード、ディスクドライブ)が機能しているときは、診断プログラムを使用して問題を調べることができます。コンピュータに関する詳しい知識があり、どのコンポーネントをテストしたらよいかをご存知の場合は、対応するテストグループまたはサブテストを選択し実行してください。どこから診断テストを始めたらいかが分からない場合は、まず本項を最後までよくお読みください。

Dell診断プログラムの起動

次の手順に従って診断プログラムを起動します。

 **メモ:** Dell Latitude L400 ResourceCDから起動する前に、この項を印刷してください。そうすれば、診断プログラムを実行中に参照することができます。

- 1 システムの電源を切ります。
- 2 コンピュータをドッキングしていれば、取り外します。
- 3 コンピュータの電源を入れ、Dellのロゴ画面が表示されたら、すぐに<F2>を押します。ここで時間をおきすぎて、オペレーティングシステムがメモリにロードされ始めてしまったら、完全にロードさせてから、システムをシャットダウンし、もう一度やり直してください。
- 4 [セットアップユーティリティ](#)でBoot画面に進み、次の起動順序を設定します。

1. Removable Devices
 2. ATAPI CD-ROM Drive
 3. Hard Disk
 4. Boot to LAN
5. 変更の内容をセーブし、セットアップユーティリティを終了します。
 6. ResourceCDをCD-ROM または DVD-ROMドライブに挿入します。
 7. システムの電源を切ります。
 8. システムの電源を入れます。コンピュータは再起動し、自動的にDell診断プログラムを実行し始めます。
 9. 診断プログラムの実行を完了したら、ResourceCDをCD-ROM または DVD-ROMドライブから取り出します。

通常の操作で使用する起動順序に戻すには、1から5の手順を繰り返します。起動順序は、必要に合わせてカスタマイズします。それから、コンピュータを再起動します。

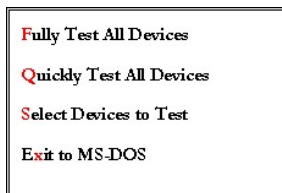
診断プログラムを起動すると、Dellのロゴ画面が表示され、その後に診断プログラムがロードされていることを示すメッセージが表示されます。

診断プログラムがロードされると、Diagnostics Menu (診断プログラムメニュー)が表示されます(図1参照)。このメニューで、すべてまたは特定の診断テストを実行したり、MS-DOS® プロンプトの状態に戻ることができます。

システムのクイックチェックを行う場合は、Quickly Test All Devices項目を選択します。この項目は、ユーザの介入を必要としないサブテストと、実行に長い時間がかからないサブテストのみを実行します。Dellでは、まずこの項目を選択して問題の原因をすばやく確認することをお勧めしています。システム全体のチェックを行う場合は、Fully Test All Devices項目を選択します。システムの特定の領域をチェックする場合は、Select Devices to Test項目を選択します。

このメニューから項目を選択するときは、項目をハイライト表示し、<Enter>を押すか、選択する項目でハイライト表示された文字に対応するキーを押します。

図1 診断プログラムメニュー



Dell診断プログラムのメイン画面の概要

Diagnostics MenuからSelect Devices to Testを選択すると、診断プログラムのメイン画面が表示されます(図2参照)。メイン画面には、診断テストデバイスグループと、選択したデバイスグループのデバイスが表示されており、また、メニューから項目を選択することができます。この画面から、メイン画面にアクセスすることができます。

診断プログラムのメイン画面上には、次の5つの領域にそれぞれの情報が表示されています。

- 1 画面の最上部の2行には、Dell診断プログラムのバージョンが表示されます。
- 1 画面の左側で、Run Testsメニュー項目からAllを選択すると、Device Groups領域に診断テストグループが実行順に表示されます。<↑>または<↓>キーを押してテストデバイスグループをハイライト表示します。
- 1 画面の右側は、Devices for Highlighted Group領域になっており、現在検出されているコンピュータのハードウェア構成と、いくつかの関連する設定が表示されます。
- 1 画面の右下には、ご使用のデバイスについての情報が表示されます。
- 1 画面の最下部の2行は、メニュー領域になっています。1行目には、選択できる項目が表示されます。<←>または<→>キーを押してメニュー項目をハイライト表示します。2行目には、現在ハイライト表示されている項目に関する情報が表示されます。

 **メモ:** 画面に表示される項目には、ご使用のコンピュータのハードウェア構成が反映されています。

図2 Dell診断プログラムのメイン画面



システム設定情報の確認

Dell Latitude L400 ResourceCDからシステムを起動すると、診断プログラムによりご使用のシステムの設定がチェックされ、その内容がメイン画面のDevice Groupsエリアに表示されます。

次のソースは、診断プログラムに対して次の設定情報を提供します。

1. セットアップユーティリティの使用中に選択したシステム設定情報の設定値(NVRAMに保存されています)
1. マイクロプロセッサ、ビデオコントローラ、キーボードコントローラおよびその他の主要部品の識別テスト
1. RAMに一時的に保存されている、基本的なBIOS設定情報

Device Groups 領域には、コンピュータに取り付けられているデバイスやコンポーネントの名前の全部が表示されない場合があります。たとえば、コンピュータにプリンタが接続されていても、そのプリンタ名は表示されていないことがあります。プリンタはパラレル通信デバイスであることから、コンピュータはアドレスをLPT1として認識し、それをパラレルポートとして識別します。Parallel Portsテストでプリンタの接続のテストをおこないます。

Dell診断プログラムの使い方

6つのわかりやすいメニュー選択方式のオンラインヘルプ項目は、プログラムの使い方の手順を示し、メニュー項目、テストグループ、サブテスト、およびテストとエラーの結果についてそれぞれ説明します。Helpメニューを起動するには、以下の手順を実行します。

1. Diagnostics MenuのSelect Devices to Testをハイライト表示します。
2. <Enter>を押します。
3. <h>を押します。

Helpメニュー項目は、[Menu](#)、[Keys](#)、[Device Group](#)、[Device](#)、[Test](#)および [Versions](#)です。オンラインヘルプは、テストするデバイスの詳細説明も示します。以降では、Helpメニュー項目について説明します。

Menu項目

Menu項目は、メインメニュー画面エリア、Device Groups、および異なる診断メニューとコマンドの説明、そしてそれらの使い方を説明しています。

Keys項目

Keys項目は、Dell診断プログラムで使用されるすべてのキーの機能についての説明です。

Device Group項目

Device Group項目は、メインメニュー画面のDevice Groupsリストで現在ハイライト表示になっているテストグループ、およびテストを使用する理由についての説明です。

Device項目

Device項目は、オンラインヘルプで学習するセクションです。Device Groupsでハイライト表示になっているデバイスの機能や目的を説明しています。

たとえば、Device GroupsリストでDisketteのDevice Help項目を選択すると次の説明が表示されます。

Diskette drive A:

The diskette disk drive device reads and writes data to and from diskettes. Diskettes are flexible recording media, sometimes contained in hard shells. Diskette recording capacities are small and access times are slow relative to hard disk drives, but they provide a convenient means of storing and transferring data.

(ディスクドライブデバイスは、ディスクとの間でデータを読み書きします。ディスクは融通のきく記録媒体で、ハードシェルに組み込まれている場合があります。ディスクの記録容量は小さく、アクセス時間はハードディスクドライブに比べて低速ですが、データの保存と転送に便利な手段です。)

Test項目

Test項目は、現在選択されているデバイスグループのサブテストそれぞれについての説明です。Diskette Drive Seek Testの例を次に示します。

Diskette drive A: - Diskette Drive Seek Test

This test verifies the drive's ability to position its read/write heads. The test operates in two passes: first, seeking from the beginning to ending cylinders inclusively, and second, seeking alternately from the beginning to ending cylinders with convergence towards the middle.

(このテストは、読み書きヘッドの位置を設定するドライブの機能を確認します。テストは2つのパスで動作します。第1に、開始シリンダから終了シリンダまでをチェックし、第2に、開始シリンダから終了シリンダまで交互にチェックし、中央へ収束します。)

Versions項目

Versions項目は、Dell診断プログラムで使用されるサブテストのバージョンのリストです。

[目次ページに戻る](#)

[目次ページに戻る](#)

ディスクドライブ: Dell™ Latitude™ L400 ユーザーズガイド

コンピュータが出荷される時点で、メディアベイには3.5インチディスクドライブが取り付けられています。デバイスのメディアベイへの取り付けと使い方については、「[メディアベイ](#)」を参照してください。

ディスクドライブを使えば、3.5インチディスクからプログラムをインストールしたり、データを転送したりすることができます。

ディスクドライブを使用するには、3.5インチディスクをラベルの付いた面を上にし、金属が端についている方からドライブに挿入します。イジェクトボタンがドライブケースの外に出るまでディスクをドライブに差し込んでください。

注意: ディスクドライブにディスクを入れたまま、持ち歩かないでください。イジェクトボタンやドライブが破損する場合があります。

ドライブからディスクを取り出すには、イジェクトボタンを押してディスクを出し、ドライブから抜いてください。

ディスクドライブからデータをアクセスしている場合は、[ドライブインジケータ](#)が点滅します。

 **メモ:** ディスクドライブは外付けのディスクドライブとして使用することもできます。その場合は、Dellから別途お求めになれるオプションのケーブルで、コンピュータの背面にある[パラレルコネクタにディスクドライブを接続して](#)下さい。

Microsoft Windows 98、Windows NT、あるいはWindows MeオペレーティングシステムでSoftex BayManagerを実行している場合、[BayManagerを使って](#)、ドライブを使えるようにするためにコンピュータを再起動せずに、ディスクドライブをコンピュータ、あるいはL400 アドバンスポートリブリケータ(コンピュータがドッキングされている場合)に接続できます。(Windows 2000は、デバイスのスワップ — コンピュータをシャットダウンすることなくドライブの取り外しと取り付けが可能 — をサポートしています。)

[目次ページに戻る](#)

[目次ページに戻る](#)

ディスプレイ: Dell™ Latitude™ L400 ユーザーズガイド

- [輝度の調整](#)
- [デュアルディスプレイモード](#)
- [拡張ビデオモード](#)
- [ディスプレイに問題が起きたら](#)
- [ビデオドライバと解像度](#)
- [ディスプレイとタッチパッドのクリーニング](#)
- [解像度のカスタマイズ](#)

輝度の調整

コンピュータの内蔵ディスプレイの輝度を調整するには、[表1](#)のキーの組み合わせを使用することができます。


 **メモ:** コンピュータをバッテリー電源で動作させている場合は、目が疲れない範囲で最も低い輝度に設定します。最も低い輝度に設定すると、バッテリーを長く使えます。


表1 輝度関連のキーの組み合わせと機能



キーの組み合わせ	機能
<Fn> + ↓	輝度を下げます。
<Fn> + ↑	輝度を上げます。

拡張ビデオモード

MS-DOS®テキストモードでは、ディスプレイフォントを変更することができます。<Fn><F7>を押すと、通常ビデオモード(serifフォント)と拡張ビデオモード(エキストラリーディングserifフォント)との間を切り替えます。拡張ビデオモードでは、800 × 600ピクセルの解像度以外のアイテムは画面全体に拡大されます。

 **メモ:** ダウンロードしたフォントを使用するMS-DOSプログラムでは、ディスプレイフォントに問題が起きることがあります。その場合はビデオの性能を最適化するために、拡張ビデオモードを使用しないでください。

ビデオドライバと解像度

プリインストールされているビデオドライバがオペレーティングシステムで動作することによって、ディスプレイの解像度、表示色数およびフレッシュレートをカスタマイズできます。



 **メモ:** プリインストールされているビデオドライバは、ご使用のコンピュータの性能を最大限に活用するよう設計されています。プリインストールされたオペレーティングシステムには、これらのドライバのみを使うことをお勧めします。

表2には、1台のコンピュータディスプレイ、または1台の外付けモニターに対し、1つのコントローラを使う場合にサポートされる解像度と表示色数の組み合わせを示します。

表2 1台のコントローラと1台のディスプレイを使う場合に、サポートされる解像度と表示色数

解像度	bpp(ピクセルあたりの色深度[ビット])			
	8	16	24	32
640 × 480	8	16	24	32
800 × 600	8	16	24	32
1024 × 768	8	16	24	32
1280 × 1024	8	16	24	なし

 **メモ:** ディスプレイは常に1280 x 1024で表示します。

bppレート当たりの色数

8 bpp = 256色

16 bpp = 65,536色
24 bpp = 16,777,256色
32 bpp = 4,294,967,296色

1台のコントローラを使った、マルチディスプレイの操作。

マルチディスプレイ(コンピュータのディスプレイと外付けモニタ)をサポートする1台のコントローラの場合、表2において1280 x 1024の解像度が両方のディスプレイを24、16、または8bppで表示する点が異なります。

Windows 98を実行中の外付けモニタでの1280 x 1024解像度の使い方


1280 x 1024 あるいは 1024 x 768 の解像度をMicrosoft® Windows® 98オペレーティングシステムで実行しているシステムの外付けモニタで使うには、外付けモニタを次の手順に従って、**プラグアンドプレイモニタ**に設定してください。

1. **スタートボタンから設定**を選択して、**コントロールパネル**をクリックします。
2. **画面アイコン**をダブルクリックします。
3. **設定 タブ**の**詳細**をクリックして、**モニタタブ**をクリックします。
4. **変更...**をクリックし、**次へ**に続けて、**特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し、インストールするドライバを選択する**をクリックします。
5. **次へ**をクリックし、**すべてのハードウェアを表示**を選択します。
6. **製造元から(標準モニタの種類)**をクリックします。
7. **モデル**から **プラグ アンドプレイモニタ**を選択し、**OK**をクリックします。
8. **閉じる**をクリックします。
9. **画面のプロパティ**ウィンドウの**画面の領域**を **1280 x 1024**または**1024 x 768**に設定して、**適用**をクリックします。
10. **OK**を2回クリックし、続けて**はい**をクリックします。

表示色数を増やすには解像度を下げます。システムがサポートしていない解像度と色の組み合わせを選択した場合は、サポートしている中から近い値の組み合わせが自動的に選択されます。

解像度のカスタマイズ

1. **スタートボタン**をクリックし、**設定**から**コントロールパネル**をクリックします。
コントロールパネルウィンドウが表示されます。
2. **画面アイコン**をダブルクリックします。
画面のプロパティウィンドウが表示されます。
3. **設定**タブを選択してから、**画面の領域**ボックスの**スライダー**をドラッグして、解像度を変更します。**色**ボックスから表示する色数を選択します。詳細は、オペレーティングシステムに付属のマニュアルを参照してください。
ディスプレイがサポートしている以上の解像度または表示色数を選択した場合には、最も近い値に自動的に調整されます。
4. リフレッシュレートを変更するには、**詳細**ボタンをクリックしてから**アダプタ**タブをクリックします。**リフレッシュレート**ドロップダウンメニューから新しいレートを選んで**OK**を押します(オペレーティングシステムによって、多少異なります)。

 **メモ:**リフレッシュレートの調整は、外付けモニタに対してのみ有効です。

デュアルディスプレイモード

Windows® 98およびWindows Meでは、外付けモニタを内蔵ディスプレイの延長として使用できます(詳細はオペレーティングシステムに付属のマニュアルを参照してください)。コンピュータをデュアルディスプレイモードに設定するには、次の手順を実行します。

1. **外付けモニタ**を接続します。
2. **スタートボタン**をクリックし、**設定**から**コントロールパネル**をクリックします。
3. **コントロールパネル**ウィンドウで、**画面アイコン**をダブルクリックします。
4. **画面のプロパティ**ウィンドウで、**設定**タブをクリックします。
5. **詳細**をクリックします。


- ATI 画面タブをクリックします。
- モニタかディスプレイのどちらかをプライマリに設定します。そしてもう1つの表示デバイスをセカンダリに設定します。(プライマリ表示デバイスにはシステムアイコンとタスクバーが表示されます。)
- 適用をクリックします。
- はいをクリックして設定を確認します。
- OKをクリックして、画面のプロパティボックスに戻ります。
ウィンドウ内に2つのディスプレイアイコンが表示されます。
- 「2」のマークの付いたディスプレイアイコンをダブルクリックして、セカンダリ表示デバイスを選択します。
- モニタを有効にするかを尋ねる画面が表示されたら、はいをクリックしてから適用をクリックします。
- 希望があれば、セカンダリデバイスの画面の領域と色のどちらかまたは両方のオプションを変更して、適用をクリックします。
- 「1」のマークの付いたディスプレイアイコンをダブルクリックし、手順12と13を繰り返してプライマリ表示デバイスを有効にします。
- OKをクリックします。

ディスプレイに問題が起きたら

コンピュータに電力が供給されているにもかかわらず、ディスプレイに何も(たとえば、光、テキストまたはグラフィックス)表れなかったり、ディスプレイに表示される画像の調子が悪い場合は、次の手順に従って問題を解決してください。

- ディスプレイに何も表示されない場合、サスペンドモードやスタンバイモード、またはS2D(Suspend-to-Disk)モードになっている可能性があります。電源ボタンを押してサスペンドモードまたはスタンバイモードから復帰してください。

ディスプレイに何も表示されず、電源インジケータが点灯している場合は、ディスプレイが停止している可能性があります。この場合は、キーボードの任意のキーを押して通常動作に復帰します。
- [バッテリーの低下を知らせるアラーム](#)が発したら、ACアダプタをコンピュータに接続するか、バッテリーを交換してください。
- [輝度を調整](#)します。
- コンピュータに外付けモニタが接続されている場合は、<Fn><F8>を押してビデオ画像の出力先を切り替えます。

 **メモ:**ビデオ画像の切り替えには数秒かかります。

ディスプレイとタッチパッドのクリーニング

ディスプレイやタッチパッドが、使っているうちに汚れたら、柔らかくて清潔な布を水で軽く湿らせて、清掃してください。ディスプレイやタッチパッドを清掃する前に、必ずコンピュータの電源を切ってください。

ディスプレイを清掃するには、布でディスプレイの上から下の一方方向に拭いてください。

タッチパッドを清掃するには、布でタッチパッドの表面を軽く拭いてください。タッチパッドとコンピュータの上部カバーの間に水分が入らないようにしてください。

[目次ページに戻る](#)

[目次ページに戻る](#)

ドライバおよびユーティリティのインストール: Dell™ Latitude™ L400 ユーザーズガイド

● [概要](#)

● [Dell Latitude L400 ResourceCDからのドライバおよびユーティリティのインストール](#)

概要

コンピュータのすべてのユーティリティ、およびDellで取り付けたデバイス用のすべてのドライバは、コンピュータがお手元に届いたときに、操作できる状態になっています。お客様ご自身でインストールや設定を行う必要はありません。しかしながら、ドライバまたはユーティリティのインストールが必要な場合は、コンピュータに付属のDell Latitude L400 ResourceCDを使用してください。このResourceCDには、Dell 診断プログラムおよびシステムマニュアルも含まれています。

また、Dellのサポートウェブサイト<http://support.dell.com>からシステムツールおよびマニュアルにもアクセスできます。表示される地図をクリックして国を選択してください。WELCOME TO support.jp.dell.comページで、お使いのシステムの情報を入力し、システムのヘルプツールや情報にアクセスしてください。

Dell Latitude L400 ResourceCDからのドライバおよびユーティリティのインストール

ResourceCDからドライバまたはユーティリティをインストールするには、次の手順を実行してください。

1. 開いているすべてのアプリケーションプログラムの作業を保存します。
2. ResourceCDをCD-ROM またはDVD-ROM ドライブに挿入します。

ほとんどの場合、CDは自動的に実行を開始するはずですが、開始しない場合は、Windows® Explorerを起動し、CD-ROM ドライブのディレクトリをクリックしてCDの内容を表示し、それからStart.htmファイルをクリックします。

3. 使用したいユーザインタフェース言語を選択します。

オペレーティングシステムの種類の一覧および、すべてのソフトウェアカテゴリを表示するシステムソフトウェアの用途画面が現われます。

4. **オペレーティングシステムの種類**で、お使いのオペレーティングシステムをクリックしてドライバの一覧、Utilities サブディレクトリ、およびDocumentationサブディレクトリを表示します。
5. Documentationをクリックしてから、Dell System Updateをクリックします。
6. 見たいマニュアルの言語を選択します。
7. **クリックするとマニュアルが表示されます**をクリックします。

Dell System Updateの手順に従って使用したいユーティリティまたはドライバをインストールします。

[目次ページに戻る](#)

エラーメッセージ、IRQ、およびメモリ割り当て : Dell™ Latitude™ L400 ユーザーズガイド

[エラーメッセージ](#)

[メモリ割り当て](#)

[IRQ割り当てコンフリクトの回避](#)

[I/Oメモリマップ](#)

エラーメッセージ

アプリケーションプログラム、オペレーティングシステム、およびコンピュータ自体には、問題を検知して知らせる機能があります。問題が発生すると、コンピュータの内蔵ディスプレイまたは外付けモニタ(接続している場合)にメッセージが表示されることがあります。

エラーメッセージが内蔵ディスプレイや外付けモニタに表示されたときは、メッセージの内容をメモしてください。メッセージの説明と解決方法については、[表1](#)を参照してください。メッセージはアルファベット順に示されます。


 **メモ:** 表示されたエラーメッセージが表1にない場合は、そのエラーメッセージが表示された際に実行していたアプリケーションプログラムのマニュアルや、メッセージとその対応策の説明を記載したオペレーティングシステムのマニュアルを参照してください。


表1 システムエラーメッセージ

メッセージ	原因	対応策
0271: Check date and time settings	real-time clockが日付と時間をデフォルト値に戻しました。	セットアップユーティリティを起動し、日付と時間を正しい設定に変更します。問題が解決しない場合は、 Dellテクニカルサポート へご連絡ください。
02B0:Diskette drive A error	コネクタがしっかり接続されていないか、ディスクが破損している可能性があります。	ディスクにあるファイルにアクセスすると、ディスクドライブインジケータランプが点灯するが、エラーメッセージが表示される場合は、別のディスクを試してください。エラーメッセージが再び表示される場合は、コンピュータをシャットダウンし、メディアベイのドライブを取り付け直してください。コンピュータの電源を入れ、エラーメッセージが表示されるかチェックしてください。 問題が解決しない場合は、 Dell診断プログラム のDiskette Driveテストを実行します。それでも問題が解決しない場合は、 Dellテクニカルサポート へご連絡ください。
0232:Extended RAM Failed at address line: nnnn	拡張メモリの設定が適切でないか、メモリアドレスnnnnで問題があります。	Dellテクニカルサポート へご連絡ください。
0200:Failure Fixed Disk	ハードディスクドライブの初期化に失敗しました。	ハードディスクドライブを取り付け直し、コンピュータを再起動します。問題が解決しない場合は、 Dell診断プログラム のHard-Disk Driveテストを実行します。
02B2:Incorrect drive A type-run Setup	セットアップユーティリティで、ディスクドライブが正しく認識されません	コンピュータをシャットダウンし、メディアベイのドライブを取り付け直します。コンピュータの電源を入れ、エラーメッセージが表示されるかチェックします。 問題が解決しない場合は、コンピュータを再起動し、システム情報画面またはDellのロゴのどちらかが表示されたらすぐに<F2>を押して、セットアップユーティリティを起動します。Main画面のDiskette Aの設定を書きとめてから、 Dellテクニカルサポート へご連絡ください。
0212:Keyboard controller failed	キーボードコントローラに問題があります。	Dellテクニカルサポート へご連絡ください。
0211:Keyboard error	外付けキーボードをご使用の場合、ケーブルやコネクタがしっかり接続されていないか、キーボードが故障している可能性があります。 内蔵キーボードをご使用の場合、内蔵キーボードが故障している可能性があります。コンピュータの起動中に、キーボード上のキーが押された可能性があります。	外付けキーボードをご使用の場合、キーボードケーブルをチェックして、接続し直してください。ディスクドライブケーブルをチェックして、接続し直してください。問題が解決しない場合は、 Dell診断プログラム のStuck Keyテストを実行します。それでも問題が解決しない場合は、 Dellテクニカルサポート へご連絡ください。
0270:Real time clock error	NVRAM内のデータを保存するためのCMOSバッテリーが切れている可能性があります。	Dellテクニカルサポート へご連絡ください。
0231:Shadow RAM failed at offset: nnnn	アドレスnnnnで、Shadow RAMに問題があります。	Dellテクニカルサポート へご連絡ください。

0210:Stuck Key	内蔵キーボードをご使用の場合、内蔵キーボードが故障している可能性があります。コンピュータの起動中に、キーボード上のキーが押された可能性があります。	Dell診断プログラム のStuck Keyテストを実行します。問題が解決しない場合は、 Dellテクニカルサポート へご連絡ください。
0250:System battery is dead-Replace and run Setup	バッテリーの充電量が不足で、コンピュータの電源が入りません。	コンピュータを電源に接続し、バッテリーを再充電するか、またはバッテリーを交換します。それからシステムのセットアップ設定をチェックします。
02D0:System cache error-cache disabled	マイクロプロセッサに内蔵の1次キャッシュに問題が発生しました。	Dellテクニカルサポート へご連絡ください。
0251:System CMOS checksum bad-default configuration used	BIOSが変更されています。 CMOSが壊れたか、変更されています。CMOSに保存されているデータを変更するアプリケーションプログラムが原因の可能性があります。	コンピュータを再起動します。Dellのロゴが表示されるとすぐに<F2>キーを押して、セットアップユーティリティを起動し、システムを再設定します。それでも問題が解決しない場合は、 Dellテクニカルサポート へご連絡ください。
0230:System RAM failed at offset: nnnn	エラーが検出された64 KBブロック内のアドレスnnnnで、System RAMに問題があります。	Dellテクニカルサポート へご連絡ください。
0260:System timer error	システム基板上のチップが誤動作している可能性があります。	Dell診断プログラム のSystem SetテストグループとKeyboard Controllerテストを実行します。

IRQ割り当てコンフリクトの回避

2つのデバイスが同じIRQラインを使用しようとすると、問題が発生する場合があります。このようなコンフリクトを避けるには、取り付けたデバイスに付属のマニュアルを参照して、デフォルトのIRQライン設定を確認します。[表2](#)を参照してそのデバイスを使用可能なIRQラインに設定してください。

 **メモ:** コンピュータに取り付けられているデバイスは、同じCOMポートアドレスを共有することはできません。シリアルポートのデフォルト設定はCOM1です。

Microsoft® Windows® 98およびWindows MeでIRQラインの割り当てを確認するには、[スタート]ボタンをクリックし、[設定]から[コントロールパネル]を選択します。[システム]アイコンをダブルクリックして、[デバイスマネージャ]タブを選択し、[コンピュータ]をダブルクリックします。


Windows 2000はIRQ割り当てを自動的におこないます。詳細は、Windows 2000のマニュアルを参照してください。

表2 IRQラインの割り当て

IRQ ライン	割り当てられたデバイス
IRQ0	予約済み: システムタイマが使用
IRQ1	予約済み: キーボードコントローラが使用
IRQ2	セカンド割り込みコントローラから段階的に使用
IRQ3	PCI IRQC
IRQ4	シリアルポート: シリアルポートがCOM1またはCOM3に設定されていない場合使用可能
IRQ5	使用可能
IRQ6	ディスクドライブコントローラが使用(ディスクドライブがマイクロプロセッサの処理を要求していることをディスクドライブコントローラが知らせるため)
IRQ7	パラレルポート: パラレルポートが無効になっている場合は、使用可能
IRQ8	予約済み: リアルタイムクロックによって生成
IRQ9	ACPI モードにおけるPCI IRQAおよびSCI
IRQ10	PCI IRQB、D
IRQ11	使用可能
IRQ12	予約済み: タッチパッドまたは外付けPS/2マウスの出力パルファが一杯であることを知らせるために、キーボードコントローラが使用
IRQ13	予約済み: 数値演算コプロセッサが使用
IRQ14	予約済み: ハードディスクドライブが使用(ドライブがマイクロプロセッサの処理を要求していることをハードディスクドライブが知らせるため)
IRQ15	予約済み: 外付けメディアベイに取り付けられているCD-ROM、またはDVD-ROMドライブが使用(ドライブがマイクロプロセッサの処理を要求していることを知らせるため)

メモリ割り当て

表3に、コンベンショナルメモリ領域のマップを示します。マイクロプロセッサやプログラムがコンベンショナルメモリ内のアドレスを指定する場合、実際には、メインメモリ内にアドレスを指定します。

 **メモ:** Windows 98でメモリの割り当てを確認するには、[スタート]ボタンをクリックし、[設定]から[コントロールパネル]を選択します。[システム]アイコンをダブルクリックします。[デバイスマネージャ]タブをクリックし、[コンピュータ]をダブルクリックしてください。

Windows 2000はメモリ割り当てを自動的におこないます。詳細は、Windows 2000のマニュアルを参照してください。

表3 コンベンショナルメモリのマップ

アドレスレンジ	用途
0000h-003FFh	割り込みベクトルテーブル
00400h-004FFh	BIOSデータ領域
00500h-005FFh	MS-DOS®およびBASICの動作領域
00600h-9FBFFh	ユーザメモリ

表4に、アッパーメモリ領域のマップを示します。これらのアドレスには、システム/ビデオBIOSのような各種システムデバイス専用のものもあります。それ以外のアドレスは、拡張カードおよび拡張メモリアネージャ(EMM)、またはそのどちらかが使用します。

マイクロプロセッサやプログラムがアッパーメモリ領域内にアドレスを設定する場合、実際には、これらのデバイスのうちの1つにアドレス設定します。


表4 アッパーメモリのマップ

アドレスレンジ	用途
0009FC00-0009FFFF	PS/2マウスデータ領域
000A0000-000BFFFF	ビデオRAM
000C0000-000CFFFF	ビデオBIOS
000D0000-000D07FF	3Com起動ROM
000D0800-000D3FFF	使用不可
000DC000-000DFFFF	SMBIOSデータ領域
000E8000-000FFFFF	システムBIOS
00100000-03FFFFFFF	ハイメモリ領域
FD000000-FDFFFFFF (概算。アドレスは固定されていません)	ビデオRAM
FE000000-FE01FFFF (概算。アドレスは固定されていません)	ビデオRAM
FECFE000-FECFEFFF (概算。アドレスは固定されていません)	ビデオRAM
FFF80000-FFFFFFF	BIOS ROM

I/Oメモリマップ

表5に、周辺機器入出力デバイスのメモリアドレスマップを示します。PCカードなど外付けデバイスのメモリアドレスとコンピュータにより予約済みのメモリアドレスとの間にコンフリクトが発生しないかどうかを調べる場合に参考にしてください。

外付け入出力デバイスに付属のマニュアルを参照して、メモリアドレスを設定してください。もしコンピュータによって予約されているメモリアドレスとデバイスメモリのアドレスがコンフリクトが発生したら、外付けデバイスのアドレスを変更してください。

 **メモ:** Windows 98でI/Oアドレスを確認するには、[スタート]ボタンをクリックし、[設定]から[コントロールパネル]を選択します。[システム]アイコンをダブルクリックします。[デバイスマネージャ]タブをクリックし、[コンピュータ]をダブルクリックしてください。

Windows 2000はメモリ割り当てを自動的におこないます。詳細は、Windows 2000のマニュアルを参照してください。

表5 I/Oメモリマップ

アドレス	デバイス
0000-001F	DMAコントローラ#1
0020-003F	割り込みコントローラ#1

0040-005F	システムタイマ
0060-0060	キーボードコントローラ
0061-0061	システムスピーカー
0062-0062	ACPI 対応組込み型コントローラ
0064-0064	キーボードコントローラ
0066-0066	ACPI 対応組込み型コントローラ
0070-007F	RTCおよびNMI が有効
0080-009F	DMAページレジスタ
00A0-00BF	割り込みコントローラ#2
00C0-00DF	DMAコントローラ#2
00F0-00FF	数値演算コプロセッサ
0170-0177	CD-ROMドライブコントローラ
01F0-01F7	ハードディスクドライブコントローラ
0376-0376	IDEコントローラ
0378-037F	LPT1
0398-0399	システム基板のリソース
03B0-03BB	VGA
03C0-03DF	VGA
03E0-03E1	PCカードコントローラ
03F2-03F5; 03F7-03F7	ディスケットコントローラ
03F8-03FF	COM1

[目次ページに戻る](#)


[目次ページに戻る](#)

外付けデバイスの接続: Dell™ Latitude™ L400 ユーザーズガイド

- [I/Oコネクタ](#)
- [マウス、キーボード、外付けテンキーパッド](#)
- [USBデバイス](#)
- [パラレルデバイス](#)
- [アドバンスポートリプリケータ](#)
- [外付けモニター](#)
- [ACアダプタ](#)
- [オーディオデバイス](#)
- [モデムコネクタ](#)
- [NICコネクタ](#)
- [メディアオプション](#)

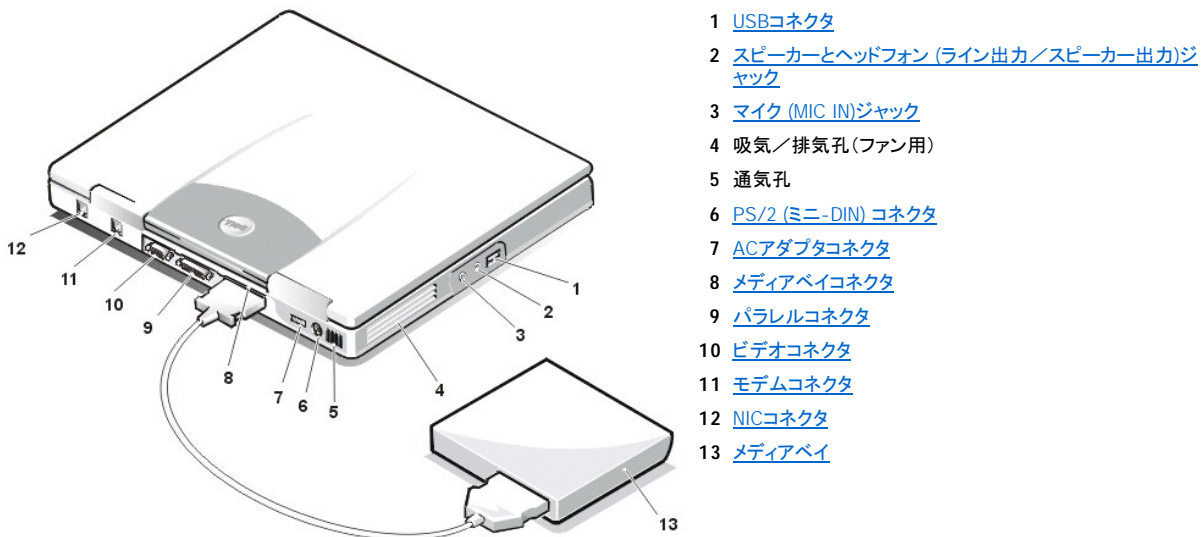
I/Oコネクタ

コンピュータの背面とコンピュータの左側にある(図1参照)I/Oコネクタに、外付けデバイスを接続できます。コンピュータのBIOS (basic input/output system)は、コンピュータを起動または再起動すると、外付けデバイスがあるかどうかを検出します。コンピュータの底面にある[ドッキングコネクタ](#)を介して、Dell Latitude L400アドバンスポートリプリケータ(APR)に接続できます。

 **メモ:** 外付けデバイスによっては、正しく動作するためにデバイスドライバと呼ばれるプログラムを事前にシステムメモリにロードする必要があります。コンピュータは、これらのソフトウェアドライバを通して外付けデバイスを認識し、動作させることができます。デバイスドライバのインストールに関する説明書は、通常アップグレードキットに梱包されています。

アドバンスポートリプリケータには、お使いのコンピュータと同じI/Oコネクタと、それに加えて、シリアルポートおよび追加のPS/2ポートも装備されています。アドバンスポートリプリケータの詳細な説明に関しては、アドバンスポートリプリケータに付属のマニュアルを参照してください。


図1 コンピュータのI/Oコネクタ



マウス、キーボード、外付けテンキーパッド

マウス、101または102キーボード、外付けテンキーパッドなどのPS/2互換のデバイスをミニDIN PS/2 コネクタに接続できます。


マウス

 **メモ:** コンピュータが[サスペンド](#)(または[スタンバイ](#))モード、または[suspend-to-disk \(S2D\)](#)(または[休止状態](#))モードのときに外付けマウスを接続した場合、コンピュータが通常の動作を再開すると外付けマウスは使用できます。ただし、実行中のプログラムにマウスを認識させるには、再起動が必要な場合があります。コンピュータがサスペンド(またはスタンバイ)モード、あるいはS2D(または休止状態)モードではない状態でマウスを接続した場合は、再起動しなければマウスを使用することはできません。

コンピュータにPS/2マウスを接続した場合、セットアップユーティリティのInternal TouchpadオプションがAuto Disabled(デフォルト)に設定されていると、タッチパッドは自動的に無効になります。外付けポインティングデバイスがコンピュータに取り付けられている場合に、タッチパッドを有効なままにしておくには、[セットアップユーティリティ](#)のAdvanced画面に進んで、Internal TouchpadをEnabledに設定してください。

Microsoft社製以外のPS/2互換マウスを使用し、正常に動作しない場合には、コンピュータを再起動してください。それでも動作しない場合には、マウスに付属しているディスクからドライバをインストールしてからコンピュータを再起動してください。


キーボード

 **メモ:**コンピュータがサスペンド(またはスタンバイ)モード、あるいはS2D(または休止状態)モードの状態を外付けキーボードを接続した場合、コンピュータが通常の動作を再開するとすぐに外付けキーボードは認識されます。

外付けキーボードとコンピュータのキーボードを同時に使用することができます。コンピュータに外付けキーボードを接続すると、内蔵テンキーパッドは自動的に無効となります。

外付けキーボードの<Scroll Lock>は、特定のキーの組み合わせが、コンピュータのキーボードの<Fn>と同じように動作します(セットアップユーティリティのAdvanced画面のExternal Hot-Keyオプションが有効になっている場合)。

外付けテンキーパッド

 **メモ:**コンピュータがサスペンド(またはスタンバイ)モード、あるいはS2D(Suspend-to-Disk)モードの状態を外付けテンキーパッドを接続した場合、コンピュータが通常の動作を再開すると外付けテンキーパッドはすぐに認識されます。

コンピュータに外付けテンキーパッドを接続すると、コンピュータのキーボード上のテンキーパッドは自動的に無効になります。外付けテンキーパッドの操作は内蔵キーボードのインジケータと連動します。

USB デバイス

USBハブデバイスは、USBコネクタに接続できます。USBハブデバイスは、複数のUSBデバイス(マウス、キーボード、プリンタ、およびスピーカーなどの低速の周辺機器)をサポートできます。

パラレルデバイス

パラレルデバイス(通常はプリンタ)は、25ピンパラレルコネクタに接続することができます。ディスクドライブもパラレルコネクタに接続できます。

パラレルポートはパラレル形式でデータの送受信をおこないます。8ビットつまり1バイトのデータが、8ラインで構成されたケーブルを通して同時に送信されます。ポートは、プリンタなどの単方向(送信専用)デバイス用のポートまたはネットワークアダプタなどの双方向デバイス用のポートとして設定できます。

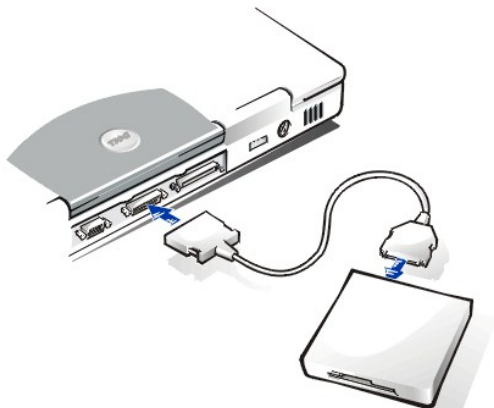
コンピュータの内蔵パラレルポートは、LPT1として指定されています。Microsoft®Windows® 98およびWindows 2000、またはWindows Me オペレーティングシステムでは、パラレルデバイスは自動的に認識され、正しく設定されます。パラレルポートは、PS/2互換ポートを標準として設定することもできます。

ディスクドライブのパラレルコネクタへの接続

メディアベイコネクタに既にデバイスが接続されている場合に、ディスクドライブをセカンド外付けデバイスとして使用できます。ディスクドライブがメディアベイに取り付けられていなければ、ディスクドライブはAIになり、その場合パラレルコネクタに接続されているドライブはBIになります。

ドライブをI/Oパネルにあるパラレルコネクタに接続するには、別売のパラレルディスクドライブケーブル(Dellからお求めになれます)を使用します(図2参照)。

図2 ディスクドライブのパラレルコネクタへの接続



注意: ディスケットドライブを外付けで使用していない場合は、パラレルコネクタからパラレルディスクドライブケーブルを取り外してください。

注意: パラレルディスクドライブケーブルは、ディスクドライブのみに使用してください。このケーブルで別のデバイスとコンピュータを接続しないでください。

[ドライブアクセスインジケータ](#)は、パラレルコネクタに接続されているディスクドライブからデータをアクセスしているときには点滅しません。

注意: ディスケットドライブがメディアベイに取り付けられていない場合、ディスクドライブは大切に扱ってください。ドライブを押さえつけたり上に物を置いたりしないでください。ドライブモーターが故障するおそれがあります。

アドバンスポートリブリケータ

コンピュータ底面にある[ドッキングコネクタ](#)を介して、コンピュータをDellのアドバンスポートリブリケータに接続できます。コンピュータのドッキングに関しては、アドバンスポートリブリケータに付属のマニュアルを参照してください。

外付けモニタ

15ピンビデオコネクタを使用して、外付けモニタをコンピュータに接続します。

外付けモニタの接続

外付けモニタを接続するには、次の手順を実行します。

注意: ディスプレイを閉じている状態でも、ノートブックコンピュータの上には直接外付けモニタを置かないでください。コンピュータケースやディスプレイ、またその両方が破損することがあります。

1. 外付けモニタの電源が入っていないことを確認します。モニタを机やモニタスタンド、またはコンピュータの近くの水平な場所に置きます。
2. 外付けモニタのビデオケーブルをコンピュータに接続します。


ビデオケーブルコネクタをコンピュータ背面の適切な[ビデオコネクタ](#)に接続します。ビデオケーブルがモニタに直接取り付けられていない場合は、ビデオケーブルをモニタに接続します。

無線電波障害(RFI)を防ぐため、ビデオケーブルコネクタのすべてのネジをしっかり締めてください。

3. 外付けモニタをアースされたコンセントに接続します。

モニタの電源ケーブルの一方の端にある三芯プラグを正しくアースした電源タップまたはその他のアースされた電源に接続してください。ケーブルがモニタに直接接続されていない場合はモニタに接続します。

外付けモニタは、[アドバンスポートリブリケータ](#)にも接続できます。


 **メモ:** Microsoft Windows 98またはWindows Meでは、外付けモニタを内蔵ディスプレイの延長として使用できます。詳細については、オペレーティングシステムのマニュアル、または「[デュアルディスプレイモード](#)」を参照してください。

外付けモニタの使い方

コンピュータに外付けモニタが接続されている場合、コンピュータを起動するとビデオ画像が自動的に外付けモニタに表示されます。

ビデオ画像の出力先を内蔵ディスプレイと外付けモニタのどちらか、また内蔵ディスプレイと外付けモニタの両方同時にするかを切り替えるには、内蔵キーボードの<Fn><F8>を押します。外付けキーボードの場合、[セットアップユーティリティ](#)でAdvanced画面のExternal Hot-Keyオプションが有効になっていれば、<Scroll Lock>と<F8>を押します。

コンピュータの起動時に外付けモニタの電源が入っていない場合でも、コンピュータはビデオ画像を外付けモニタに送ります。この場合は、内蔵ディスプレイか外付けモニタに何も表示されなくなります。画像を表示させるには、外付けモニタの電源を入れるか、内蔵キーボードの<Fn><F8>(External Hot-Keyオプションが有効になっている場合は外付けキーボードの<Scroll Lock><F8>)を押して、ビデオ画像をコンピュータの内蔵ディスプレイに切り替えてください。

 **メモ:** 外付けモニタを使用している場合、内蔵ディスプレイがサポートしているよりも高い解像度で表示させると、ディスプレイの同時表示機能が無効になります。ディスプレイを使用するにはコンピュータがサポートしている解像度に切り替えるか、または外付けモニタの接続を外してコンピュータを再起動してください。

ACアダプタ

ACアダプタコネクタを使用して、[ACアダプタ](#)をコンピュータに接続することができます。ACアダプタは、AC電源をコンピュータに必要なDC電源に変換します。

ACアダプタは、コンピュータの電源が入っている状態でも、また切れている状態でも接続できます。

ACアダプタは世界各国のAC電源に適合します。ただし、電源コネクタは国によって異なります。国外でAC電源を使用するときは、その国に適した電源ケーブルが必要になる場合があります。

オーディオデバイス

スピーカー、マイク、ヘッドフォンなどのオーディオデバイスは、次の方法で、2つの[オーディオジャック](#)に接続することができます。

- 1 マイクのオーディオケーブルは、マイクジャック(MIC INジャックともいいます)に接続します。
 - 1 スピーカーのオーディオケーブルは、ヘッドフォン/スピーカージャック(ライン出力/スピーカー出力ジャックともいいます)に接続します。
-

モデムコネクタ

コンピュータ背面にあるRJ11モデムコネクタを介して、電話線を内蔵モデムに接続できます。

注意:ご使用のコンピュータの[モデムとNICコネクタ](#)を混同しないでください。電話線をNICコネクタにプラグ接続しないでください。

NICコネクタ

コンピュータ背面にあるRJ45コネクタを介して、内蔵ネットワークインタフェースコントローラ(NIC)に接続できます。

注意:ご使用のコンピュータの[モデムとNICコネクタ](#)を混同しないでください。電話線をNICコネクタにプラグ接続しないでください。



メモ:Microsoft Windows 98、Windows NT®、Windows 2000、またはWindows Meを実行中で、PCカードNICを取り付けたい場合は、問題を避けるために[システム内蔵NICを無効にしてください](#)。

メディアオプション

CD-ROM、CD-RW、DVD-ROM、Zip 250およびディスクドライブなどの[メディアオプション](#)は、メディアベイコネクタに接続できます。また、セカンド(起動不可能)ハードディスクドライブも接続できます。

[目次ページに戻る](#)

[目次ページに戻る](#)

困ったときは: Dell™ Latitude™ L400 ユーザーズガイド

[ヘルプの概要](#)

[Dellへのお問い合わせ](#)

[目次ページに戻る](#)

[目次ページに戻る](#)

ヘルプの概要: Dell™ Latitude™ L400 ユーザーズガイド

[テクニカルサポート](#)

[製品情報](#)

[ヘルプツール](#)

[保証期間中の修理もしくは返金について](#)

[ご注文に関する問題](#)

[お問い合わせになる前に](#)

テクニカルサポート

技術上の問題のサポートを受けなければならないときは、以下の手順に従ってください。

1. Dell診断プログラムを実行します。
2. [診断チェックリスト](#)を印刷し、それに記入します。
3. インストールとトラブルシューティングの手順に関しては、DellのWorld Wide Webサイト(<http://support.jp.dell.com>)のサポートページをご覧ください。
4. これまでの手順で問題が解決されず、Dellの技術者に問い合わせなければならないときは、Dellのテクニカルサポートサービスにお電話ください。

テクニカルサポートにお問い合わせになるときは、まず「[お問い合わせになる前に](#)」を参照してから、「[Dellへのお問い合わせ](#)」に記載の番号にご連絡ください。

ヘルプツール

Dellは、ユーザを支援するための多数のツールを提供しています。以降では、これらのツールについて説明します。

World Wide Web

インターネットは、ご使用のコンピュータやその他のDell製品に関する情報を得るための最も強力なツールです。Faxboxサービス、ご注文状況、テクニカルサポート、製品情報などにインターネットからアクセスできます。

DellのWorld Wide Webサポートホームページ(<http://support.jp.dell.com>)で、お使いのシステムの情報を入力し、サポートツールおよび情報にアクセスします。

インターネット上でのDellへのアクセスは、次のアドレスをご利用ください。

World Wide Web

<http://www.dell.com/jp/>(日本)

<http://www.dell.com/>(北米)

<http://www.dell.com/ap/>(アジア/太平洋諸国のみ)

<http://www.euro.dell.com/>(ヨーロッパのみ)

<http://www.dell.com/la/>(ラテンアメリカ諸国のみ)

FaxBox サービス(ファックス情報サービス)

Dell FaxBox サービス(ファックス情報サービス)は、フリーダイヤルでファクシミリを使用して24時間年中無休で技術情報を提供するサービスです。

プッシュホン式の電話から必要なトピックを選択します。テクニカル情報が指定したファックス番号宛に送信されます。FaxBox サービス(ファックス情報サービス)の電話番号については、「[Dellへのお問い合わせ](#)」を参照してください。

24時間納期情報案内サービス

注文したDell製品の状況をチェックすることができます。電話番号については、「Dell お問い合わせ番号」を参照してください。オンラインでも納期状況をご確認いただけます。

テクニカルサポートサービス

Dellのテクニカルサポートは、Dell製品に関するお問い合わせについて、24時間いつでもご利用になれます。

テクニカルサポートに電話をおかけになると、サポートスタッフがお問い合わせ内容の確認のために、ご使用のシステムの詳細をお聞きすることがあります。サポートスタッフはその情報を元に、正確な回答を迅速に提供します。

テクニカルサポートにお問い合わせになる場合は、まず「[お問い合わせになる前に](#)」を参照してから、「[Dellへのお問い合わせ](#)」に記載の番号にご連絡ください。

ご注文に関する問題

欠品、誤った部品、間違った請求書などの注文に関する問題があれば、Dellカスタマーケアにご連絡ください。お電話の際は、納品書または出荷伝票をご用意ください。電話番号は、「[Dellへのお問い合わせ](#)」を参照してください。

製品情報

Dellが提供しているその他の製品に関する情報が必要な場合や、ご注文になりたい場合は、DellのWorld Wide Webサイトの<http://www.dell.com/jp/>をご覧ください。電話で販売担当者と話をしたいときは、「[Dellへのお問い合わせ](#)」を参照してください。

保証期間中の修理もしくは返品について

製品を修理する場合(引き取り修理対応機種のみ)

Dellテクニカルサポートの担当者は、ご使用のコンピュータに関する問題の解決にあたりますが、修理が必要と判断された場合は修理のためにシステムやその備品の返送をお願いすることがあります。

1. テクニカルサポートのお電話でシステムを引き取りに何日程、システム梱包用の箱の有無、引き取る場所、連絡先を確認させていただきます。システムに同梱するべきものがある場合は、その際にご案内いたします。
2. 指定の日、指定の場所に提携宅配業者がシステムを引き取りにお伺いします。梱包用の箱をお持ちの場合は、それまでにシステムの梱包を終わってください。また、サービスタグナンバー (Service Tag #・5桁または7桁の英数字で、通常バーコードが記載された細長いシール上に書かれています。このシールは、ノートパソコンの場合はシステムの底面、デスクトップパソコンの場合は本体の背面あるいは側面に貼られています)をお手元に控えておかれるようお願いいたします。このサービスタグナンバーはシステムに関するお問い合わせの際に必要です。

修理以外の理由で製品を返品する場合


1. はじめにDellの営業担当者にご連絡ください。Dellから製品返送用のRMAナンバー(返却番号)をお知らせいたしますので梱包する箱の外側にはっきりとよくわかるように書き込んでください。
2. 製品返却手続きのご案内用紙をファックス(または郵送)でお送りします。返却する製品を、購入時に入っていた箱に梱包し、上記のご案内用紙から返却シートを切り離して箱に貼付します。コンピュータ本体を返品される場合は、返却手続きのご案内に記載されているサービスタグナンバーと、製品に貼付されているサービスタグナンバーが一致しているか、必ずご確認ください。(サービスタグナンバーに関しては「製品を修理する場合」の手順2を参照してください)電源コード、ソフトウェアディスク、マニュアルなどの付属品も全て製品と同梱してください。
3. 集荷依頼窓口へ電話し、集荷希望の日時・場所を伝えます。

運送中に破損、紛失、盗難などに遭った場合、Dellでは一切責任を負いかねますので、予めご了承ください。

以上の条件が満たされていない場合は、そのままお客様へ返送させていただくことがあります。

お問い合わせになる前に

必ず[診断チェックリスト](#)に記入してください。[Dellへお問い合わせ](#)になるときは、できればコンピュータの電源を入れて、コンピュータの近くの電話から電話をかけてください。キーボードからコマンドを入力したり、操作時に詳細情報を説明したり、コンピュータシステム自体でのみ可能な他のトラブルシューティング手順を試してみるようお願いする場合があります。システムのマニュアルがあることを確認してください。

 **警告:** コンピュータカバーを外さなければならないときは、まずすべてのコンセントからシステムの電源ケーブルとモデムケーブルを外してください。

診断チェックリスト

日付:
名前:
住所:
電話番号:
サービスタグ(コンピュータ背面のバーコード):
返品番号(Dellサポート技術者から提供された場合):

オペレーティングシステムとバージョン:
周辺機器:
拡張カード:
ネットワークに接続されていますか? はい・いいえ
ネットワーク、バージョン、ネットワークカード:
プログラムとバージョン:
システムのスタートアップファイルの内容を確認するときは、オペレーティングシステムのマニュアルを参照してください。コンピュータがプリンタに接続されている場合は、各ファイルを印刷します。それ以外は、各ファイルの内容を記録してからDellに電話してください。
エラーメッセージ、ビープコードまたは診断コード:
問題点の説明と実行したトラブルシューティング手順:

[目次ページに戻る](#)

[目次ページに戻る](#)

はじめに: Dell™ Latitude™ L400 ユーザーズガイド

[概要](#)

[使用可能なオプション](#)

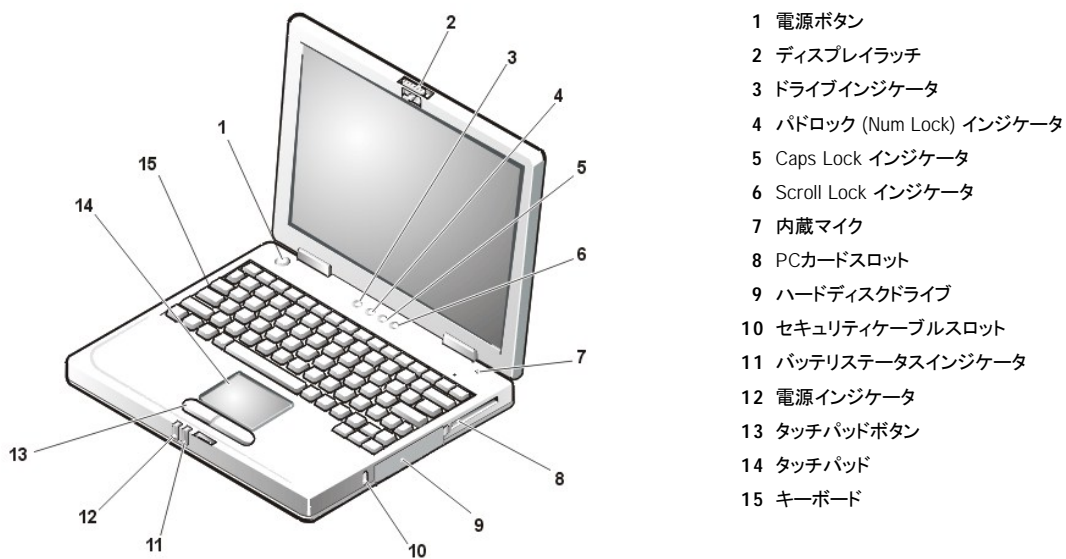
[機能](#)

[困ったときは](#)

概要

Dell Latitude L400 ノートブックコンピュータは、PCIおよびIntel SpeedStep™技術を含む Intel®Mobile Pentium®III マイクロプロセッサを搭載した、拡張性のあるマルチメディアシステムです。この項では、ご使用のコンピュータのハードウェアとソフトウェアの主な機能を説明します。[図1](#)、[図2](#)、および[図3](#)にコンピュータの右正面、左背面および底面を示します。

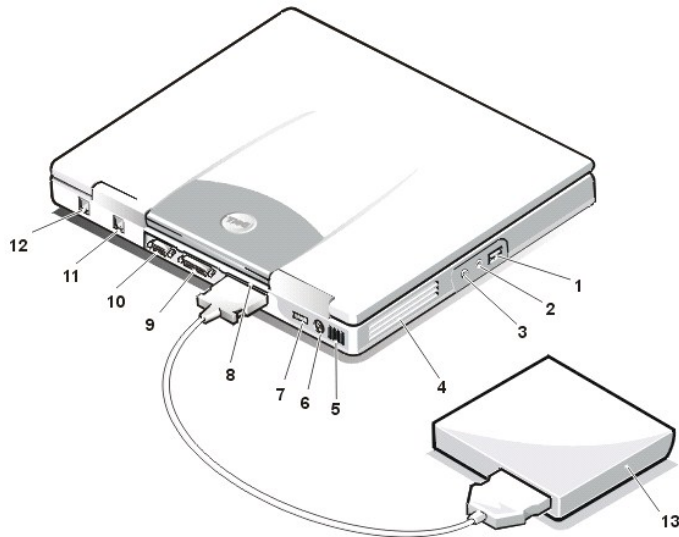
図1 コンピュータの右正面



注意: コンピュータの過熱を避けるため、メディアベイを通気孔や、ファン用の吸気／排気孔の近くに置かないでください(図2参照)。

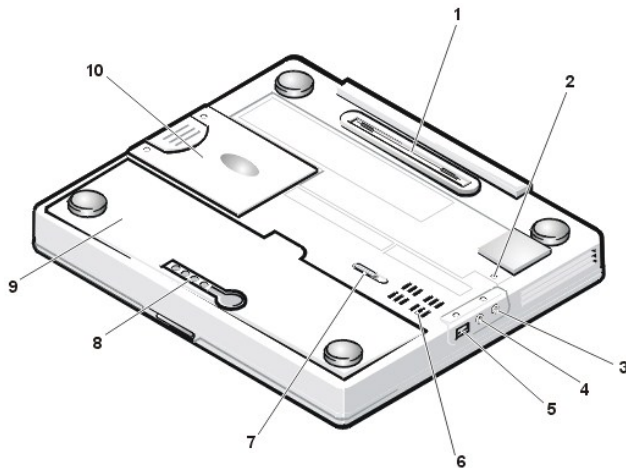
注意: ご使用のコンピュータのモデムとNICコネクタを混同しないでください。電話線をNICコネクタにプラグ接続しないでください(図2参照)。

図2 コンピュータの左背面



- 1 USBコネクタ
- 2 スピーカーとヘッドフォン (ライン出力/スピーカー出力)ジャック
- 3 マイク (MIC IN)ジャック
- 4 ファン用の吸気/排気孔
- 5 通気孔
- 6 PS/2コネクタ
- 7 ACアダプタコネクタ
- 8 メディアベイコネクタ
- 9 パラレルコネクタ
- 10 ビデオコネクタ
- 11 モデムコネクタ
- 12 NICコネクタ
- 13 メディアベイ

図3 コンピュータの底面



- 1 ドッキングコネクタ
- 2 [リセットスイッチ](#)アクセスホール
- 3 マイク (MIC IN)ジャック
- 4 スピーカーとヘッドフォン (ライン出力/スピーカー出力)ジャック
- 5 USBコネクタ
- 6 スピーカー
- 7 バッテリラッチ
- 8 バッテリ充電ゲージ
- 9 バッテリ
- 10 ハードディスクドライブベイ

機能


ご使用のコンピュータには、次のような特徴があります。

- 1 次の機能を搭載することにより、あらゆるマルチメディアをサポートしています。
 - 12.1インチXGA(extended graphics array)、1024 × 768 TFTアクティブマトリクスカラーディスプレイ。
 - DVD-ROM、CD-RW、CD-ROM、ディスク、またはZip 250ドライブなどのストレージデバイスをサポートするメディアベイ。セカンド(起動不可能)ハードディスクドライブもサポート。

 **メモ:** デバイスのメディアベイへの取り付けについての詳細は、「[メディアベイ](#)」を参照してください。

- 4 MBのビデオメモリ搭載。
- コンピュータのビデオ性能を向上させるAGP(Accelerated Graphics Port)アーキテクチャ。
- PCカードスロットのZV(Zoomed Video)PCカードをサポート。
- マイク、および外付けステレオスピーカー、またはヘッドフォンをコンピュータに接続するための2つのオーディオジャック。
- 内蔵マイクおよびスピーカー。
- ソフトウェアウェーブテーブル、Sound Blasterエミュレーション機能。

- 1 システムメモリは、64 MB、128 MBまたは256 MB(購入時のオプション)のSDRAM、SODIMMで構成されています。
- 1 サスPEND(またはスタンバイ)モードとS2D(Suspend-to-Disk)モードの2種類の省電力モードによって、バッテリー電力を節約します。バッテリーの充電残量が低下すると、S2D(Suspend-to-Disk)モードはハードディスクドライブにすべてのシステムデータをコピーしてからコンピュータの電源を切るため、データの損失を防ぎます。
- 1 3.3 Vまたは5 VのPCカードを1枚取り付けることができます。PCカードスロットは、ZV PCカードを含むタイプIおよびタイプII PCカードをサポートしません。


 **メモ:** PCカードコントローラは、PCカードの32ビットデータ転送に関するCardBus規格に準拠しています。

- 1 Dell Latitude L400アドバンスポートリプリケータをサポートするハードウェアとソフトウェアを装備しています。
- 1 タッチパッドポインティングデバイスは、右利き/左利きに関係なく使用できます。タッチパッドの左右のボタンはマウスのボタンと同じ動作をします。また、タッチパッドでもパッドを軽くたたくことでマウスの機能が実行できます。また、ボタンを使わないクリック&ドラッグ機能もサポートします。
- 1 リチウムイオンバッテリーがバッテリーベイに装備されています。4電池式バッテリーが標準ですが、コンピュータを購入する時に、6電池式バッテリーをオプションで付けることもできます。また別売カスタムキットとしても購入できます。


注意: バッテリーはDell Latitude L400 ノートブックコンピュータ専用です。バッテリーをそれ以外のコンピュータで使用しないでください。また他のコンピュータのバッテリーでLatitude L400コンピュータを使用しないでください。

 **警告:** バッテリーに穴をあけたり、燃やしたりしないでください。充電できなくなったバッテリーの破棄は、廃棄物取扱い業者または行政機関にご相談ください。

- 1 高性能なパラレルポート並びに多目的なPS/2コネクタが搭載されているため、外付けデバイスを接続できます。モニタコネクタには外付けモニタを接続できます。USBコネクタには、スタンドアロンデバイスやハブデバイスを接続できます。
- 1 コントローラの要らない内蔵56 Kbps v.90モデムは、世界中の電話ハードウェアをサポートします。
- 1 内蔵3Com® 10/100-BASETX PCIバスマスタEthernetネットワークインタフェースコントローラ(NIC)が搭載されています。
- 1 リセットスイッチ(コンピュータ底面のリセットスイッチアクセスホールがあります)を使うと、コンピュータの電源を切って入れ直さずに、コンピュータを再起動できます。


 **メモ:** リセットスイッチを使ってコンピュータを再起動するには、クリップを真直ぐにして、[リセットスイッチアクセスホール](#)に1秒ほど押し込みます。

- 1 自動温度調整システムは、ファンとマイクロプロセッサの速度変化を使って、コンピュータを最適な温度に保ちます。

 **警告:** ノートブックコンピュータを、底面が皮膚に直接触れる状態で使わないで下さい。長時間使うと、底部の温度が高くなる可能性があります。長時間皮膚に直接触れると、皮膚に不快感を感じたり、やけどをする可能性があります。

Dellコンピュータには、次のようなソフトウェアが付属しています。

- 1 Microsoft® Windows® 98 Second Edition、Windows NT® 4.0、Windows 2000、またはWindows Me オペレーティングシステムがハードディスクドライブにプリインストールされています。詳細は、オペレーティングシステムに付属のマニュアルを参照してください。
- 1 [セットアップユーティリティ](#)でシステム設定情報を確認または変更できます。
- 1 Dell Latitude L400 ResourceCDを使って、Dell診断プログラムを実行したり、必要があれば、Dellがハードディスクドライブにインストールしたデバイスドライバおよびユーティリティを再インストールすることもできます。
- 1 [Dell診断プログラム](#)によって、コンピュータのコンポーネントや、デバイスの動作を確認できます。

 **メモ:** ハードディスクドライブにオペレーティングシステムがプリインストールされていない場合は、ドライバ、システムユーティリティ、または診断プログラムをDellから別途お求めいただけます。ご注文については、「[困ったときは](#)」にある電話番号をご利用ください。

使用可能なオプション

Dellでは、次のようなデバイスおよびアップグレードオプションを提供しています。

- 1 Latitude L400アドバンスポートリプリケータ
- 1 セカンドバッテリー
- 1 外付けキーボードとテンキーパッド
- 1 外付けモニタ
- 1 外付けポインティングデバイス
- 1 外付けスピーカー、ヘッドフォン、マイク

- 1 プリンタ
- 1 Dell Latitudeストレージデバイス (ハードディスクドライブ、CD-ROMドライブ、CD-RWドライブ、DVD-ROMドライブ、およびZip 250ドライブなど)
- 1 ACアダプタ
- 1 PCカード
- 1 キャリーケース

オプション製品の接続やインストールの方法は、Dellからお求めになったアップグレードキット付属のマニュアルを参照してください。お使いのコンピュータに使用可能なオプションについての詳細は、<http://support.jp.dell.com>をご覧ください。

困ったときは

このガイドで説明している手順がよく分からないときや、システムが思うように動作しないときのために、Dellでは多数のヘルプツールを提供しています。ツールの詳細については、「[困ったときは](#)」を参照してください。

[目次ページに戻る](#)

[目次ページに戻る](#)

キーボード: Dell™ Latitude™ L400 ユーザーズガイド

- [内蔵テンキーパッド](#)
- [ディスプレイ関連のキーの組み合わせ](#)
- [省電力関連のキーの組み合わせ](#)
- [スピーカー関連のキーの組み合わせ](#)
- [システム設定のキーの組み合わせ](#)
- [CD-ROMおよびDVD-ROMドライブ関連のキーの組み合わせ](#)

内蔵テンキーパッド

作業をしている時、表計算プログラムや経理プログラムで数字を入力するには、内蔵テンキーパッド(図1参照)を使うと便利です。内蔵テンキーパッドは、内蔵キーボードのいくつかのキーを共有しています。これらのキーは、内蔵キーボードの右側に青い色で記されている数字と記号文字キーです。内蔵テンキーパッドを使用するには、<Fn><Pad Lock> を押します(内蔵テンキーパッドが有効な間は、[パッドロックインジケータ](#) が点灯します)。

図1 内蔵テンキーパッド



キーの組み合わせによっては、テンキーパッドのオン、オフに関わらず使用できるものもあります。

テンキーパッドの機能を有効または無効にするには、表1に示すテンキーパッドの組み合わせを使用しておこないます。

表1 内蔵テンキーパッドのキーの組み合わせ


テンキーパッドがオンの場合	機能
<Fn><F9>	内蔵テンキーパッドをオンからオフに切り換えます。
テンキーパッドがオフの場合	機能
<Fn><F9>	内蔵テンキーパッドをオフからオンに切り換えます。

ディスプレイ関連のキーの組み合わせ

コンピュータのディスプレイの調整は、表2に示すキーの組み合わせを使用しておこないます。


表2 ディスプレイ関連のキーの組み合わせ

キーの組み合わせ	機能
<Fn> + ↓	輝度を1段階ずつ下げます。
<Fn> + ↑	輝度を1段階ずつ上げます。
<Fn><F7>	ディスプレイの表示を拡張ビデオモードと通常のビデオモードの間で切り替えます。
<Fn><F8>	ビデオ画像の出力先を、内蔵ディスプレイ、外付けモニター、内蔵ディスプレイと外付けモニターの両方という順番で表示を切り替えます。
<Fn><F1>	ディスプレイの電源を切ります。

 **メモ:** コンピュータのディスプレイなど、アクティブマトリクス(TFT)ディスプレイをご使用の場合はコントラストを変更することはできません。

<Fn><F1>および<Fn><F8>のキーの組み合わせは、[セットアップユーティリティ](#)でAdvanced画面のExternal Hot-Keyオプションを有効にしてから<Fn>の変わりに<Scroll Lock>を押すことで、外付けキーボードから使用できます。

省電力関連のキーの組み合わせ

 **メモ:** 表3のキーの組み合わせは、[セットアップユーティリティ](#)でAdvanced画面のExternal Hot-Keyオプションを有効にしてから<Fn>の代わりに<Scroll Lock>を押すことで、外付けキーボードから使用できます。

コンピュータの省電力機能の起動や停止は、表3に示すキーの組み合わせを使用しておこないます。

表3 省電力関連のキーの組み合わせ

キーの組み合わせ	機能
<Fn><F1>	ディスプレイの動作を停止します。
<Fn><F3>	バッテリーステータスアイコンを表示します。
<Fn><Esc>	サスペンド または スタンバイ モードを起動します。
<Fn><a>* (フランス語のキーボードの場合は<Fn><q>*)	S2D(Suspend-to-Disk) モードを起動します。

* このキーの組み合わせは、ACPIを使ったオペレーティングシステム (Microsoft® Windows® 98、Windows 2000、またはWindows Meなど) のもとでは機能しません。

スピーカー関連のキーの組み合わせ

スピーカーの音量調整、およびスピーカーを有効または無効にするには、表4に示すキーの組み合わせを使用しておこないます。

表4 スピーカー関連のキーの組み合わせ

キーの組み合わせ	機能
<Fn><F5>	内蔵スピーカーおよび外付けスピーカー (接続されている場合) のボリュームを上げます。
<Fn><F6>	内蔵スピーカーおよび外付けスピーカー (接続されている場合) のボリュームを下げます。

システム設定のキーの組み合わせ

MS-DOS®モードでのコンピュータの起動、およびセットアップユーティリティの起動には、表5に示すキーの組み合わせを使用します。

表5 システム設定のキーの組み合わせ

キーの組み合わせ	機能
<Ctrl><Alt>	MS-DOSモードでコンピュータを再起動します。Microsoft Windows 98、Windows NT®、Windows 2000、またはWindows Meの場合は、 スタートボタン をクリックして、 Windowsの終了 または シャットダウン をクリックします。
<F2>	セットアップユーティリティを起動します (システムを起動する場合のみ)。

CD-ROMおよびDVD-ROMドライブ関連のキーの組み合わせ


CD-ROMまたはDVD-ROMトレイのイジェクトは <Fn><e>を押します。

[目次ページに戻る](#)

[目次ページに戻る](#)

メディアベイ: Dell™ Latitude™ L400 ユーザーズガイド

メディアベイ(図1参照)には、コンピュータに付属のディスクドライブを取り付けることができます。またCD-ROM、CD-RW、DVD-ROM、Zip 250、起動不可能セカンドハードディスクドライブなどのオプションのデバイスもメディアベイに取り付けることができます。

 **メモ:** メディアベイを使わずに、メディアベイケーブルで、デバイスを外付けメディアベイコネクタに直接接続することもできます。

メディアベイにデバイスを取り付けるには、次の手順を実行します。

1. お使いのコンピュータに、Softex BayManager搭載のMicrosoft® Windows® 98、Windows NT®、またはWindows Meがプリインストールされている場合は、タスクバーにあるWindowsシステムトレイのSoftexアイコン(開いた状態のノートブックコンピュータの形をしています)を右クリックしてから、**ベイデバイスの除去/スワップ**または**ベイデバイスの挿入**をクリックします。どちらをクリックしても、システムは**サスペンド**(または**スタンバイ**)モードになります。

Windows NT、Windows 98、またはWindows Meを使用していて、それがSoftexプログラムを動作していない場合は、作業中のデータを保存し、開いている全てのファイルとアプリケーションプログラムを閉じて、コンピュータの電源を切ります。

Windows 2000を使用している場合は、メディアベイにおけるデバイス交換はオペレーティングシステムがサポートします。次項で説明しているように、デバイスの取り外しや取り付けはできますが、ハードウェアのプラグの取り外しやハードウェアの取り出しについては、この項のSoftex関連の手順ではなく、Windows 2000のマニュアルを参照してください。

注意:メディアベイに収納されていないデバイスは壊れやすいので、傷がつかないように注意して取り扱ってください。上部を押したり重い物を置かないでください。ほこりや液体から収納されていないデバイスを守るため、トラベルケースに入れ安全な場所に保管してください。

2. メディアベイにデバイスが取り付けられている場合は、次の手順でデバイスを取り外します。
 - a. ベイの背面からメディアベイケーブルを取り外します。
 - b. メディアベイを裏返します。
 - c. ベイの裏側にあるリリースラッチを、ロック解除のアイコンの方にスライドさせます。
 - d. 片手でラッチを解除の位置で押さえたまま、もう一方の手でデバイスを持ち上げて、ベイから取り出します。
 - e. ラッチから手を離し、メディアベイを裏返して元に戻します。

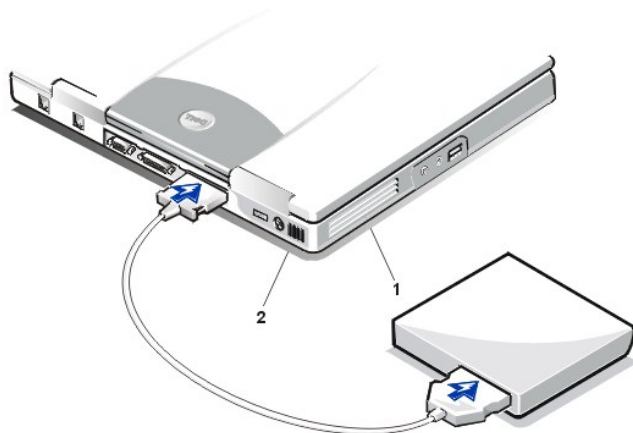
3. 新しいデバイスをメディアベイにしっかりと差し込みます。

デバイスが所定の位置に固定されるとカチッと音がします。

注意:コンピュータの過熱を避けるため、メディアベイを通気孔や、ファン用の吸気/排気孔の近くに置かないでください(図1参照)。

4. メディアベイケーブルを次のように接続します。
 - a. ケーブルコネクタの大きい方の端を、金属製の縁を下側にしてベイの背面のスロットを介してデバイスにしっかりと接続します。
 - b. 保護クリップとコネクタがしっかりとかみ合っていることを確認します。
 - c. ケーブルのもう一方の端がコンピュータの右側にあるメディアベイコネクタに接続されていることを確認します(図1参照)。

図1 メディアベイ



- 1 ファン用の吸気/排気孔
- 2 通気孔

5. ご使用のコンピュータが、Softex BayManagerを動作している場合は、Softex Bay Manager画面でOKをクリックします。ペイデバイスを除去またはスワップ画面が表示された場合はOKをクリックし、システムデバイス変更画面でOKをクリックします。

手順1でコンピュータの電源を切った場合は、コンピュータの背面の電源ボタンを押して電源を入れます。

[目次ページに戻る](#)

[目次ページに戻る](#)

メディアオプション: Dell™ Latitude™ L400 ユーザーズガイド

- [メディアベイ](#)
 - [CD-ROM、DVD-ROM、およびCD-RWドライブ](#)
 - [ディスケットドライブ](#)
-

[目次ページに戻る](#)

[目次ページに戻る](#)

PCカード: Dell™ Latitude™ L400 ユーザーズガイド

[PCカードについて](#)

[PCカードの取り外し](#)

[PCカードNICの使い方](#)

[PCカードの設定](#)

[PCカードの取り付け](#)

PCカードについて

コンピュータの右側には、PCカード用スロットが装備されていて、PCMCIA (Personal Computer Memory Card International Association) 規格リリース 2.01およびJEIDA (Japanese Electronic Industry Development Association) 規格リリース4.2に準拠したPCカードを取り付けることができます。

コンピュータは、タイプ I およびタイプ II のPCカードをサポートしています。PCカードにはモデムカード、LANカード、無線LANカード、SCSIカードなどがあります。また、ディスクをエミュレートするSRAMカード、RAMカード、OTPROMカード、IDEハードディスクドライブをエミュレートするATAカードをサポートしています。

Microsoft® Windows® 98、Windows 2000、またはWindows Meオペレーティングシステムをご使用の場合は、ハードウェアMPEGデコーダなどのZV (Zoomed Video) PCカードを使用できます。(Microsoft Windows NT® 4.0オペレーティングシステムでは、ZVをサポートしていません)。

 **メモ:** PCカードは起動デバイスではありません。

PCカードの「タイプ」とは厚さによる分類で、機能とは関係ありません。

コンピュータはほとんどの入出力カードを認識し、自動的にカードに必要なデバイスドライバをロードします。

注意: コンピュータでエクステンデッドPCカードを使用する場合は、特に注意が必要です。エクステンデッドカードはスタンダードPCカードの長さを延長したものです。コンピュータへの装着と動作は問題ありません。ただし、カードはコンピュータに差し込んだ際に、収まりきらないではみ出します。この部分に何かがつつかるとシステム基板が破損する恐れがあります。コンピュータをキャリーケースに入れる場合は、必ずエクステンデッドPCカードを取り外してください。

PCカードNICの使い方

Microsoft Windows 98、Windows NT®、Windows 2000、またはWindows Me を実行中のシステムに、PCカードNICを取り付けたい場合は、問題を避けるために、次の手順を実行してシステム内蔵NICを無効にします。

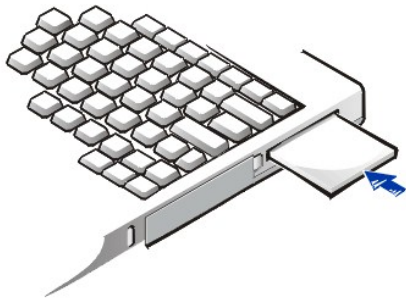
1. システムの起動中に<F2>を押して、[セットアップユーティリティ](#)を起動します。
2. メイン画面でAdvancedタブをクリックします。
3. 詳細画面でI/O Device Configurationをハイライト表示して、<Enter>を押します。
4. I/Oデバイス設定画面でLAN項目をハイライト表示して、<Enter>を押してから、Disabled設定を選択します。
5. <F10>を押して新しい設定を保存し、セットアップユーティリティを終了します。

PCカードの取り付け

通常、PCカードにはカードのスロットへの挿入方向を示す矢印や三角形などが描かれています。カードは誤った方向で挿入しないように設計されています。カードの向きがわからない場合は、カードに付属のマニュアルを参照してください。

PCカードを取り付けるために、コンピュータの電源を切ったり、サスペンドモードまたはスタンバイモードを終了する必要はありません。PCカードの取り付け(図1参照)は次の手順を実行してください。

図1 PC カードの取り付け



1. 必要に応じて、PCカードスロットからダミーカードを取り出します。イジェクトボタンを1回押すとボタンの先端が外に出ます。もう一度ボタンを中に押し込んでダミーカードの一部が出てきたら引き出します。
2. イジェクトボタンが押し込まれていることを確認し、カード上面を上、挿入方向を示す印をスロットに向けてカードを持ちます。
3. カードをスロットに挿入し、内蔵PCカードコネクタにカードが完全に固定されるまでしっかりと差し込みます。
4. カードがうまく差し込めない場合は、無理にカードを押し込まずに、カードの向きを確認して再度試してみてください。

ダミーカード

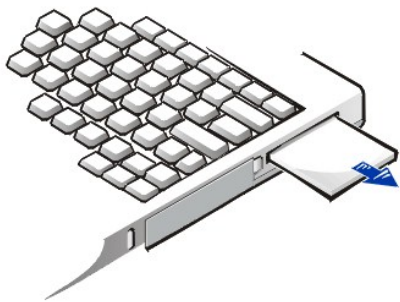
PCカードを取り付けない場合は、常にダミーカードを取り付けておいてください。ダミーカードはPCカードスロットを埃やゴミから保護します。

PCカードの取り外し

注意: Windows 98をお使いの場合、PCカードを取り外す前に、タスクバーのPCカード(PCMCIA)のプロパティを使ってカードを選択し、そのカードの機能を停止させてください。PCカード(PCMCIA)のプロパティでカードの機能を停止しないで取り外すと、起動しているソフトウェアアプリケーションのデータを失うことがあります。

PCカードを取り外すには、次の手順を実行してください(図2参照)。

図2 PCカードの取り外し



1. イジェクトボタンを1回押すとボタンの先端が外に出ます。もう一度ボタンを中に押し入れてカードの一部を外に出します(カードを取り出す時に、ボタンの先端が再び外に出ることもあります)。
2. 丁寧にカードを取り外します。

スロットを使わない場合は、PCカードスロットを保護するため、ダミーカードを取り付けてください。

PCカードの設定

PCカード設定ユーティリティには、次の機能があります。

1. PCカードが挿入されると、それを認識し、カードの設定方法を示します。
1. ハードディスクドライブに使用可能なデバイスドライバを自動的にロードします。
1. ハードディスクドライブに使用可能なドライバがない場合、カードに付属のデバイスドライバディスクからドライバをインストールするように促す指示をおこないます。

オペレーティングシステムによってPCカードが自動的に検出され、**コントロールパネル** から**ハードウェアの追加** または**ハードウェアの追加と削除**メニューが表示されます。詳細については、PCカードオペレーティングシステムのマニュアルを参照してください。

[目次ページに戻る](#)

[目次ページに戻る](#)

電源の使い方: Dell™ Latitude™ L400 ユーザーズガイド

- [ACアダプタ](#)
- [電力管理設定](#)
- [バッテリー](#)

[目次ページに戻る](#)

[目次ページに戻る](#)

まえがき: Dell™ Latitude™ L400 ユーザーズガイド

[このマニュアルについて](#)

[注意事項に関する表記上の規則](#)

[その他のマニュアル](#)

[本文の表記上の規則](#)


このマニュアルについて

このマニュアルは、Dell Latitude L400ノートブックコンピュータのユーザを対象にし、コンピュータについて初心者から経験豊富なユーザーの方々まで幅広くご利用いただけることを目的としています。また、基本的なトラブルシューティングの手順や、コンピュータとそのコンポーネントを検証するためのDell診断プログラムの説明が記載されています。各項では次の内容を説明します。

- 1 「[はじめに](#)」 — コンピュータの機能および利用できるアップグレードについての概要。
- 1 「[セットアップと操作](#)」 — コンピュータの操作手順。
- 1 「[電源の使い方](#)」 — コンピュータに電源を供給する手順と選択項目。
- 1 「[Intel SpeedStepオプション](#)」 — マイクロプロセッサの動作レベルを設定するための手順。
- 1 「[ノートブックコンピュータを携帯するときは](#)」 — コンピュータを安全に携帯するためのヒント。
- 1 「[ドライバおよびユーティリティのインストール](#)」 — Dell Latitude L400 ResourceCDの使い方に関する情報。
- 1 「[コンピュータのカスタマイズ](#)」 — セットアップユーティリティ、電源管理ソフトウェア、およびSuspend-to-Diskユーティリティを利用して、コンピュータの節電機能に関連するシステム設定を変更するための手順。
- 1 「[ハードディスクドライブの交換](#)」 — ハードディスクドライブの取り付けや取り外しの手順。
- 1 「[コンピュータのトラブルシューティング](#)」 — コンピュータの基本的な問題を解決するための初期確認や手順、またソフトウェアの問題やメッセージを解析するための一般的なガイドライン。
- 1 「[仕様](#)」 — ご使用のコンピュータの詳細を参照するための項目。
- 1 「[困ったときは](#)」 — システムに問題が起きたときに役立つツール。Dellのテクニカルサポートへのお問い合わせについての情報。

その他のマニュアル

ご使用のコンピュータには、このユーザーズガイドの他に次のマニュアルが付属しています。

-  **メモ:** コンピュータと共に、ご使用のコンピュータまたはソフトウェアに関する変更について説明したアップデートのマニュアルが梱包されていることがあります。アップデートには最新の情報が含まれていますので、その他のマニュアルをお読みになる前に必ずアップデートに関するマニュアルをお読みください。
- 1 オペレーティングシステムの「セットアップガイド」。ご使用のコンピュータにプリインストールされたオペレーティングシステムのセットアップについての説明が記載されています。
- 1 Dellからオペレーティングシステムをお求めになった場合は、Microsoft® Windows® 98 Second Edition (SE)、Windows NT® 4.0、Windows 2000、またはWindows Millennium Edition (Me) のマニュアルが梱包されています。このマニュアルにはオペレーティングシステムソフトウェアの設定方法および使い方についての説明が記載されています。
- 1 オンラインマニュアルには、ご使用のコンピュータのデバイス(モデムなど)や、システムとは別途にお買い求めになったオプションのための情報が記載されています。この補助的なマニュアルをご覧になるには、WindowsデスクトップのDell **マニュアル**アイコンをダブルクリックし、**システム情報**をクリックします。次に**システムマニュアル**をクリックします。
- 1 ハードディスクには、最終段階でのコンピュータの仕様変更や、技術者や専門知識をお持ちのユーザを対象とするテクニカルリファレンスなどが記載された「readme」ファイルがインストールされていることがあります。

注意事項に関する表記上の規則


この項では本マニュアルで使用する注意事項の記載に関する規則について説明します。

メモ、注意、警告

このマニュアル全体を通して、ボールド体のテキストにアイコンが付いた箇所があります。これらは、メモ、注意、および警告であり、次のような内容を示しています。

 **メモ:** 操作上、知っておくと便利な情報が記載されています。

注意: ハードウェアの破損またはデータの損失の可能性があることを示します。また、その問題を回避するための方法も示されています。

 **警告:** 問題を回避しないと、軽～中程度のけがを負う危険性があることを示します。

本文の表記上の規則

次の説明は、特定の項目をわかりやすく表示するためにこのマニュアルで使用している表記規則の定義です。

- 1 インタフェースコンポーネントは、モニタ画面またはディスプレイに表示されるウィンドウのタイトル、ボタンおよびアイコン名、メニュー名および選択、およびその他の項目を表わし、ボールド体で示します。

例: OKをクリックします。

- 1 キーボードのそれぞれのキーに記されているキーキャップは、角括弧で囲んで示します。

例: <Enter>

- 1 キーの組み合わせは、(特に指示のある場合を除き) ひとつの機能を実行するために複数のキーを同時に押すことを意味します。

例: <Ctrl><Alt><Enter>

- 1 ボールド体で表示されている小文字は、コマンド名を参照しているだけで、実際に文字をタイプする必要がないコマンドです。

例: 「**setup** コマンドを使用して」

これに対し、実際に文字をタイプするコマンドにはクーリエ体が表示されています。

例: 「format a: とタイプしてAドライブのディスクをフォーマットします。」

- 1 ファイル名およびディレクトリ名は小文字のボールド体で表示されます。

例: **autoexec.bat** および **c: \windows**

- 1 シンタックスラインは、コマンドおよびその指定可能な全てのパラメータで構成されます。コマンドは小文字のボールド体で表示されます。変数パラメータ(ユーザが実際の値に置き換えるもの)は、イタリックの小文字で表示されます。定数パラメータはボールド体の小文字で表示されます。大括弧は任意選択の項目を意味します。

例: **del** [drive:][path][filename] [/p]

- 1 コマンドラインはコマンドで構成され、コマンドの指定可能な、1つまたは複数のパラメータが含まれることがあります。コマンドラインは、クーリエ体で表示されます。

例: `del c: %myfile.doc`

- 1 画面テキストは、ディスプレイや外付けモニタの画面に表示されるテキストです。これにはシステムメッセージや、コマンドラインなどタイプする必要のあるコマンドの一部なども含まれます。コマンドラインはクーリエ体で表記します。

例: 以下のメッセージが画面に表示されます。

No boot device available(起動デバイスなし)

- 1 変数は数値の代わりに使用する記号です。イタリック体で表示されます。

例: module n (nはメモリモジュール番号を表します。)

[目次ページに戻る](#)

[目次ページに戻る](#)

ハードディスクドライブの取り付けおよび取り外し: Dell™ Latitude™ L400 ユーザーズガイド

お使いのハードディスクドライブを取り替える前に、次の注意を詳しくお読みください。

注意: データの損失を防ぐため、ハードディスクドライブを取り外す前に必ずコンピュータの電源を切ってください。コンピュータが**サスペンド** (または**スタンバイ**) モードの状態、または**ドライブインジケータ**が点灯しているときは、ドライブを取り外さないでください。このような状態でハードディスクドライブを取り外すと、データが失われることがあります。

注意: ハードディスクドライブは大変壊れやすいので、注意して取り扱い必要があります。ハードディスクドライブの取り扱いに際しては、次のガイドラインに従ってください。

1. ハードディスクドライブは、ドライブキャリアを持ってください。ドライブ本体には触らないでください。ドライブを保護し、また取り付けを簡単におこなうために金属製のキャリアに入っています。コンピュータから取り出したドライブでは、キャリアはドライブの側面しか保護せず、上部と下部は保護されていませんので、ドライブは静電気や引っ掻きにより大変壊れやすくなります。
1. 絶対にドライブの上部を押さないでください。
1. ドライブを落とさないでください。わずかに震動させたり、ぶついたりしただけでもドライブのヘッドおよび回転板が損傷します。損傷すると、ドライブは動作しなくなります。

警告: ハードディスクドライブを極端な環境条件で使用すると、温度が上がり触ることができない場合があります。ドライブが熱くなった場合は、温度が下がってから取り付けてください。

プライマリハードディスクドライブを取り替えるには、次の手順を実行します。

1. 開いているファイルがあれば保存して、コンピュータの電源を切り、システムバッテリーを取り外します(「バッテリーの交換」の[手順3](#)を参照)。

注意: コンピュータの表面を傷つけないように、作業台の上が片付いているか確認してください。コンピュータを裏返す前にシートを敷くのもひとつの方法です。

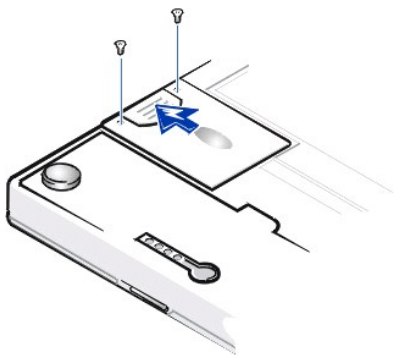
注意: ハードディスクドライブをコンピュータから外している時は、本項冒頭の[ガイドライン](#)に従ってドライブを保護してください。

2. ドライブベイから古いハードディスクドライブキャリアアセンブリを取り外します。

ディスプレイを閉じてコンピュータを裏返します。ドライブキャリアアセンブリ固定している2つのネジを0番の(小型の)プラスドライバーで外します(図1参照)。この手順の後半で使用するために、ネジは保管しておきます。

コンピュータを裏返したまま、ドライブキャリアアセンブリの3本のグリップ線を押さえ、アセンブリを真っ直ぐに引いて取り出します。

図1 ハードディスクドライブの取り外し



3. 新しいハードディスクドライブキャリアアセンブリを梱包から取り出します。

梱包は保管しておき、ハードディスクを保管または輸送する場合に使用してください。

注意: ハードディスクドライブキャリアアセンブリがなかなか入らない場合は、いったん引き出してからもう一度入れ直してください。損傷を防ぐためにドライブベイに無理に押し込まないでください。

4. 新しいハードディスクドライブをコンピュータに取り付けます。

ハードディスクドライブキャリアアセンブリをドライブベイへ挿入する場合は、コネクタを先に、ラベル面を下に向けておこないます(コンピュータの上部に向けて)。アセンブリがコンピュータケースにぴったり収まって、カチッと音がするまでアセンブリを真っ直ぐ押し込みます。

- 手順2で外したネジを取り付けます。ネジをきつく締めすぎないように注意してください。

新しいハードディスクドライブを取り付ける場合は、ドライブに付属のマニュアルに従ってドライブのパーティション分割および論理フォーマットおこない、またS2D(Suspend-to-Disk)ファイルを作成します。

新しいプライマリドライブの準備

すべてのプライマリハードディスクドライブは物理フォーマット、パーティション分割、および論理フォーマットをおこなわなければ、データを保存できません。Dellからお求めになったプライマリハードディスクドライブは、すべて物理フォーマットを済ませてあります。パーティションの分割と論理フォーマットをおこなうには、オペレーティングシステムに付属のプログラムを使用してください。詳細は、オペレーティングシステムとドライブのマニュアルを参照してください。

[目次ページに戻る](#)

[目次ページに戻る](#)

Suspend-to-Diskユーティリティ: Dell™ Latitude™ L400 ユーザーズガイド

概要


Windows 98またはWindows NT用のS2Dファイルの作成

概要

新しいハードディスクドライブを取り付けたり、壊れたソフトウェアのあるハードディスクドライブを回復して、[S2D\(Suspend-to-Disk\)](#)モード(Microsoft® Windows® 98オペレーティングシステムでは**休止状態**と呼ばれています)を使う場合、ハードディスクドライブにS2Dファイルを作成する必要があります。S2Dモードが動作している時は、すべてのシステム情報はS2Dファイルに保存されます。


 **メモ:** Microsoft Windows 2000およびWindows Meでは、**休止状態ファイルが自動的に作成されます。**

Windows 98またはWindows NT用のS2Dファイルの作成

 **メモ:** 次の手順においては、ハードディスクドライブのパーティション分割とフォーマットを前もって行っておく必要があります。ドライブのパーティション分割とフォーマットについての詳細については、オペレーティングシステムとドライブ両方のマニュアルを参照してください。

Windows 98またはWindows NTオペレーティングシステムを実行しているコンピュータのS2Dファイルを作成するには、次の手順を実行します。

1. Dell Latitude L400 ResourceCDを、CD-ROMまたはDVD-ROMドライブに挿入します。
2. コンピュータの電源を入れるか、再起動します。
3. Dellロゴが表示されたら、すぐに <F2> を押して [セットアップユーティリティ](#) を起動します。ここで時間をおきすぎて、オペレーティングシステムがメモリにロードされ始めてしまったら、完全にロードさせてから、システムをシャットダウンし、もう一度やり直してください。
4. **Boot** 画面を開いて、**ATAPI CD-ROM Drive** を選択し、それを起動順序の最初の位置に移動します。
5. <F10> を押して設定をセーブし、セットアップユーティリティを終了します。
コンピュータが再起動し、自動的にDell診断プログラムを実行し始めます。
6. **x** と入力して **MS-DOS®** モードを起動します。
7. **MS-DOS** プロンプトで、**d:** と入力 (**d** にはCD-ROMまたはDVD-ROMのドライブを指定) し、<Enter> を押します。
MS-DOSプロンプトは **changes from A: ¥>** から **D: ¥>** に変わります。Dがご使用のドライブであることを確認します。
8. **¥utility¥r9018** と入力し、<Enter> を押します。
9. **phdisk /create /file** と入力し、<Enter> を押します。

 **メモ:** 各スラッシュの前には、半角スペースを入れてください。

ユーティリティが、お使いのコンピュータのシステムメモリの容量を基に、ファイルのサイズをメガバイト単位で算出し、ビデオメモリと追加のシステム要件のために、2MBを足します。

10. 画面の指示に従って、S2Dファイルを作成します。

S2Dファイルのサイズをチェックし、MS-DOSプロンプトで **phdisk /info** と入力し、<Enter> を押します。

S2Dファイルを削除する必要がある場合は、MS-DOSプロンプトで **phdisk /delete /file** と入力し、<Enter> を押します。

注意: S2Dファイルは、お使いのコンピュータのルートディレクトリの中にありますが、オペレーティングシステムをどのように設定したかによって、隠しファイルになっていることがあります。ファイルをうっかり削除しないでください。

デフォルトの起動順序に戻すには、次の手順を実行します。

1. コンピュータの電源を入れるか、再起動します。
2. Dellロゴが表示されたら、すぐに <F2> を押して [セットアップユーティリティ](#) を起動します。ここで時間をおきすぎて、オペレーティングシステムがメモリにロードされ始めてしまったら、完全にロードさせてから、システムをシャットダウンし、もう一度やり直してください。
3. **Boot**画面を開いて<F9>を押して、デフォルトの起動順序に戻します。

4. <F10>を押して設定をセーブし、セットアップユーティリティを終了します。

[目次ページに戻る](#)


[目次ページに戻る](#)

セキュリティ機能: Dell™ Latitude™ L400 ユーザーズガイド

- [パスワードについて](#)
- [ハードディスクドライブパスワードの使い方](#)
- [スーパーバイザパスワードの使い方](#)
- [コンピュータの盗難防止](#)
- [ユーザパスワードの使い方](#)
- [管理タグ設定ユーティリティ](#)

パスワードについて

ユーザパスワードは、使用を許可されていないユーザーによるコンピュータの起動を防ぐことができます。スーパーバイザパスワードは、セットアップユーティリティへのアクセスを制御します。ハードディスクドライブが別のコンピュータに取り付けられている場合でも、ハードディスクドライブパスワードを設定すると、許可無しにはデータへのアクセスができなくなります。

 **メモ:**ご購入時には、これらの3種類のパスワードは設定されていません。パスワードによるセキュリティをおこなう場合は、パスワードを設定する必要があります。販売会社によっては、ご購入時に3つの(または3つのうちのいくつかの)パスワードが設定されている場合があります。

[セットアップユーティリティ](#)でこれらのパスワードを設定します。

注意:パスワードは、コンピュータやハードディスクドライブのデータに対して高度なセキュリティ機能を提供します。ただし、この機能だけでは万全ではありません。データのセキュリティをより確実なものにするためには、データ暗号化プログラムや暗号化機能の付いたPCカードなどを使って、ユーザ自身が保護設定を追加する必要があります。

パスワードを忘れてしまった場合は、[Dell にお問い合わせください](#)。その際、許可のない者による不正使用を防ぐため、Dellのテクニカルサポート担当者はお客様がコンピュータの所有者であるかどうかを確認します。

スーパーバイザパスワードの使い方

大きな企業のシステム管理者や技術者は、コンピュータを管理または修理するために、スーパーバイザパスワードを使ってコンピュータにアクセスすることができます。コンピュータを梱包から出して設定する際には、システム管理者や技術者が複数のコンピュータに同一のスーパーバイザパスワードを登録し、[ユーザパスワード](#)はそれぞれのコンピュータのユーザが自由に設定できるようにすることもできます。

スーパーバイザパスワードはユーザパスワードに優先します。ユーザパスワードの入力を求められた場合は、常にスーパーバイザパスワードで代用できます。

 **メモ:**スーパーバイザパスワードは、ユーザパスワードを設定する前に設定する必要があります。

スーパーバイザパスワードを使って、セットアップユーティリティの保護およびアクセスはできますが、ハードディスクドライブへのアクセスは、[ハードディスクドライブパスワード](#)が設定されている場合はできません。

パスワードを忘れてしまった場合は、[Dellのテクニカルサポート](#)にお問い合わせください。

注意:スーパーバイザパスワードを無効にすると、同時にユーザパスワードも無効になります。

ユーザパスワードの使い方

ユーザパスワードは、使用を許可されていないユーザーのアクセスからコンピュータを保護するために使用します。

 **メモ:**ユーザパスワードを設定する前に、[スーパーバイザパスワードを設定しなければなりません](#)。

[ユーザパスワードの設定](#)後は、コンピュータの電源を入れるたびにパスワードを入力する必要があります。起動ルーチン中に、次のようなメッセージが毎回画面の中央に表示されます。

Enter Password (パスワードを入力してください。)


操作を続けるには、パスワードを入力し<Enter>を押します。

スーパーバイザパスワードが設定されている場合は、ユーザパスワードの代わりに使うこともできます。通常は、コンピュータがスーパーバイザパスワードの入力を求めることはありません。

注意:スーパーバイザパスワードを無効にすると、同時にユーザパスワードも無効になります。

ハードディスクドライブパスワードの使い方

ハードディスクドライブパスワードは、使用を許可されていないユーザのアクセスからハードディスク上のデータを保護するために使用します（ドライブが別のシステムに移動されても）。

 **メモ:** コンピュータで使用するハードディスクドライブをDellで購入されない場合は、ハードディスクドライブパスワード機能が使用できないことがあります。

[ハードディスクドライブパスワードの設定](#)後は、コンピュータの電源を入れるたびにパスワードを入力する必要があります。またサスペンドモードまたはスタンバイモードから通常の動作に復帰する際にも、必ず入力する必要があります。

ハードディスクドライブパスワードを有効にした後は、コンピュータを起動するたびに次のようなメッセージが毎回表示されます。


Enter HD1 Password (HD1パスワードを入力してください。)

操作を続けるには、ハードディスクドライブパスワードを入力します。

パスワードを間違えると、次のメッセージが表示されます。

Invalid password
[Continue] (無効なパスワードです。[続行])

パスワードを3回以内に正しく入力しないと、「ハードディスクドライブにアクセスできません」というメッセージが表示されます。ハードディスクドライブにアクセスできず、[セットアップユーティリティ](#)のBoot画面オプションで別のデバイスから起動できるように設定にされていると、コンピュータは他のデバイスからの起動を試みます。どのデバイスからも起動ができなかった場合は、セットアップユーティリティを起動して、Bootオプションを変更するように、コンピュータ画面に表示されます。

 **メモ:** スーパーバイザパスワードを使ってシステムへのアクセスはできますが、ハードディスクドライブがパスワードによって保護されている場合は、ドライブにはアクセスできません。

コンピュータの盗難防止

コンピュータを無断で持ち出されないようにするために、セキュリティケーブルを使って、コンピュータを固定された物に取り付けることができます。セキュリティケーブルスロットはハードディスクドライブの隣の、コンピュータの右側にあります ([図1](#)参照)。

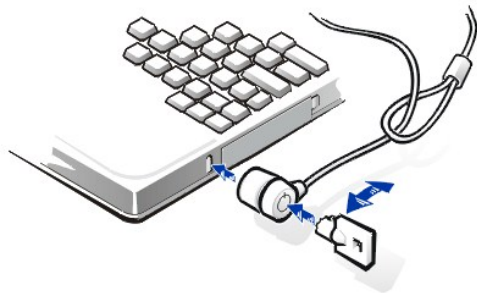
セキュリティケーブルスロットの説明

セキュリティケーブルスロットは、市販の盗難防止装置をコンピュータに取り付ける際に使用します。ノートブックコンピュータのための盗難防止装置は通常、金属線をより合わせたケーブルにロック装置が取り付けられ、キーが付属しています。セキュリティケーブルはコンピュータがDell Latitude L400アドバンスポートリプリケータに取り付けられていない状態でも、また取り付けられた状態でも使用できます。

セキュリティケーブルスロットを使用するための基本手順

コンピュータが無断で持ち出されるのを防ぐには、ケーブルを固定された物に巻き付け、ロック装置をセキュリティケーブルスロットに挿入してキーでロックします。図1にコンピュータの盗難防止方法の一例を示します。通常このような盗難防止装置には使用説明書が付属されています。

図1 コンピュータの盗難防止



 **メモ:** 盗難防止装置にはさまざまな仕様があります。盗難防止装置をお買い求めの際には、ご使用のコンピュータのセキュリティケーブルスロットに装着できるかどうかを確認してください。

管理タグ設定ユーティリティ

ご使用のコンピュータには管理タグ設定ユーティリティがプリインストールされています。管理タグユーティリティには次の機能があります。

- 1 コンピュータのサービスタグの表示

工場出荷時に割り当てられたサービスタグを[セットアップユーティリティ](#)で参照することができます。Dellが保守や保証をおこなう際にご使用のコンピュータを識別するために使用します。

1 コンピュータの管理タグの設定、表示、変更

管理タグは、ユーザまたは企業によって設定することができます。設定は必ずしも必要ではありません。またDellがこのタグを尋ねたり使用することはありません。管理タグはいろいろな目的で使用できますが、通常は企業内の複数のコンピュータを識別するために使用します。

既存の管理タグ、サービスタグの表示

既存の管理タグ、サービスタグおよび所有者タグを参照するには、次の手順に従ってください。

1. **スタートボタン**をクリックし、**プログラム**から**MS-DOS プロンプト**をクリックします。
2. `cd c:\¥Dell¥Util`と入力して <Enter>を押します。
3. `asset` と入力してから <Enter>を押します。


管理タグの設定

管理タグは最大10文字で、「/」や「?」で始まる文字を除き、スペースを含む任意の文字の組み合わせが使用できます。タグを設定または変更するには、次の手順に従ってください。

1. **スタートボタン**をクリックし、**プログラム**から**MS-DOS プロンプト**をクリックします。
2. `cd c:\¥Dell¥Util`と入力して <Enter>を押します。
3. `asset` と入力し、スペースを1つ入れてからタグを入力して <Enter>を押します。
たとえば、次のようにコマンドラインを入力してから <Enter>を押します。

```
asset 1234 $AB&C
```

4. 管理タグの確認を求めるプロンプトが表示されたら、`y` を入力し、<Enter>を押します。
新規の、または変更後の管理タグとサービスタグが表示されます。

 **メモ:** セキュリティのため、ユーザまたはスーパーバイザパスワードが設定されている場合には、管理タグを設定、変更、および削除することはできません。

管理タグの削除

新しいタグを割り当てず、既存のタグの削除だけをおこなう場合は、次の手順に従ってください。

1. **スタートボタン**をクリックし、**プログラム**から**MS-DOS プロンプト**をクリックします。
2. `cd c:\¥Dell¥Util`と入力し、<Enter>を押します。
3. `asset /d` と入力してから <Enter> を押します。

[表1](#)に、管理タグユーティリティで使用可能なコマンドラインオプションの一覧を示します。これらのオプションを使用するには、MS-DOS®プロンプトを起動し、`asset`と入力した後、スペースを1つ入れてからオプションを入力し、<Enter>を押します。

表1 管理タグユーティリティのコマンドラインオプション


管理タグオプション	説明
<code>asset</code>	管理タグ、サービスタグ、所有者タグを表示します。
<code>asset <tag></code>	新しい管理タグを設定します。
<code>asset /d</code>	管理タグを削除します。
<code>asset /?</code>	Asset Tag ユーティリティのヘルプ画面を表示します。

[目次ページに戻る](#)

[目次ページに戻る](#)

セットアップユーティリティの使い方: Dell™ Latitude™ L400 ユーザーズガイド

- [概要](#)
- [パスワードの設定](#)
- [セットアップユーティリティの起動](#)
- [バッテリー自動学習ユーティリティの使い方](#)
- [起動順序の変更](#)

 **メモ:** この項では、セットアップユーティリティの使い方の一般的な情報を提供します。オプションおよび設定についての詳細は、Dell サポートウェブサイト <http://support.jp.dell.com> にあるコンピュータのユーザーズガイドの「セットアップユーティリティの使い方」を参照してください。

概要

電源を入れるたびに、コンピュータは取り付けられたハードウェアとNVRAM内のシステム設定情報とを比較します。システムが相違を見つけると、誤ったシステム設定に対してエラーメッセージを生成します。

- 1 セットアップユーティリティを使用して、Microsoft® Windows NT® などのAPMオペレーティングシステム用のコンフィギュレーション設定を調節することができます。
- 1 Windows® 98、Windows 2000、およびWindows MeなどのACPIオペレーティングシステムは、セットアップユーティリティで利用可能なセットアップのほとんどのオプションを自動的に設定します。この場合、オペレーティングシステムは、セットアップユーティリティで設定するシステムのセットアップのオプションを上書きします。External Hot Keyオプションは例外で、セットアップユーティリティからのみ有効、あるいは無効に設定できます。これらのオペレーティングシステムの設定機能についての詳細は、Microsoft Windowsのヘルプを参照してください。


次のような場合には、セットアップユーティリティを使用します。

- 1 電力管理機能やパスワードなどの選択可能な機能を設定または変更する場合
- 1 システムのメモリ容量など現在の設定情報を確認する場合

システムを設定したら、セットアップユーティリティを実行して、システム設定情報と設定項目を確認してください。後で参照できるように、画面の情報を書き留めておくことをお勧めします。

セットアップユーティリティの起動

セットアップユーティリティを起動するには、コンピュータの電源を入れ、システム情報画面またはDellのロゴ画面のどちらかが現れたらすぐに、Microsoft® Windows® のロゴ画面が現れる前に、<F2>を押します。


 **メモ:** セットアップユーティリティのメイン画面の[Quiet Boot]オプションが[Enabled] (デフォルト)に設定されている場合は、システムの起動時にDellのロゴ画面が表示されます。[Quiet Boot]オプションが[Disabled] (デフォルト)に設定されている場合は、システムの起動時にシステム情報画面が表示されます。セットアップユーティリティを起動するには、それらの画面のひとつが表示されたら、すぐに<F2>を押してください。

セットアップユーティリティを終了するとコンピュータは自動的に再起動します。

セットアップユーティリティの画面には、ご使用のコンピュータの現在の設定、設定情報、および設定項目が表示されます。画面の情報は、4つの領域から構成されています。

- 1 それぞれの画面の最上部のメニューには、画面から画面に移動するのを助ける、6つのトップレベルの画面(Main、Advanced、Security、Power、Boot、および Exit)が表示されます。
- 1 それぞれの画面の左3分の2にある大きなボックスには、ご使用のコンピュータのハードウェア、電源管理、および安全機能を定義する項目が表示されます。
- 1 それぞれの画面の右3分の1にある小さいボックスには、現在選択されている項目についての項目特定のヘルプ情報が表示されます。
- 1 それぞれの画面の最下部の行には、セットアップユーティリティで使用できるキーの機能が表示されます。

セットアップユーティリティを終了するには、<Esc>を押して終了項目のひとつを選びます。

 **メモ:** 画面のそれぞれの項目のデフォルト値をリセットするには、<F9>を押して、次に確定のため<Enter>を押します。現在の値を保存してセットアップユーティリティを終了するには、<F10>を押して、次に確定のため<Enter>を押します。

以下に、通常よく使われるいくつかのセットアップオプションの概要を説明します。これら、またはその他のオプションの使い方の詳細は、各画面の右側に用意された項目限定のヘルプを参照してください。

起動順序の変更

Boot Screenで、コンピュータが起動を試みるデバイスの順番を決定できます(表1参照)。コンピュータの電源を入れたとき、コンピュータは一覧の最初のオプションからの起動を試みます。最初のオプションに起動可能なファイルが見つからない場合、コンピュータは2番目のオプションからの起動を試みます。それでもファイルが見つからない場合、同じ様に一覧の次のデバイスに移ります(表1に記載のある例外は除きます)。

起動順序を変更するには、上下矢印キーを使ってデバイスを選択し、次に<F6>を押してデバイスを一覧の上方に移動するか、<F5>を押して下方に移動します。たとえば、CD-ROMドライブから起動する場合、ATAPI CD-ROM Driveをハイライト表示し、<F6>キーを使って一覧の一番上に移動します。


表 1. Boot Screenオプション

オプション	機能
Removable Devices	このオプションが一覧の最初に表示されている場合、コンピュータは起動可能なディスクからの起動を最初に試みます。ディスクが挿入されていても必要な起動ファイルがディスクにない場合、エラーメッセージが表示されます。
Hard Disk	このオプションが一覧の最初に表示されている場合、コンピュータはハードディスクドライブからの起動のみを試みます。
ATAPI CD-ROM Drive	このオプションが一覧の最初に表示されている場合、コンピュータは起動可能なCDからの起動を最初に試みます。CD-ROMまたはDVD-ROMドライブに起動可能なCDが見つからない場合、コンピュータは一覧の次のデバイスからの起動を試みます。CDが挿入されていても必要な起動ファイルがCDにない場合、エラーメッセージが表示されます。
Boot to LAN	このオプションが一覧の最初に表示されている場合、コンピュータはLAN(ローカルエリアネットワーク)からの起動を最初に試みます。


パスワードの設定

[システムデータを保護するため](#)、セットアップユーティリティのSecurity画面で異なるレベルのパスワードを設定することができます。ユーザーパスワードは、コンピュータのスタートアップ時の不正なアクセスを防ぎます。スーパーバイザパスワードは、セットアップユーティリティへのアクセスを制御します。HD(ハードディスクドライブ)パスワードは、ハードディスクドライブ上のデータへの不正なアクセスを防ぎます。別のコンピュータのハードディスクドライブ上のデータも保護できます。

ユーザーパスワードの設定
スーパーバイザパスワードの設定
内蔵HDパスワードの設定

 **メモ:** ユーザーパスワードを設定する前に、必ずスーパーバイザパスワードを設定してください。ユーザーおよびスーパーバイザパスワードは同じでもかまいません。

ユーザ、スーパーバイザ、またはHDパスワードを入力、変更、または無効にするには、パスワードをハイライト表示してから<Enter>を押し、ダイアログボックスの指示に従います。

 **メモ:** 既存のユーザ、スーパーバイザ、またはHDパスワードを無効にするには、ダイアログボックスの[Enter new password]領域で<Enter>を押します。

注意: スーパーバイザパスワードを無効にすると、ユーザーパスワードが無効になります。

Password Statusオプション

User PasswordおよびSupervisor Passwordオプションは、ユーザおよびスーパーバイザパスワードの状態(Clear — デフォルト — またはSet)を示します。

HD passwordオプションには、Clear、Set、あるいはLockedの設定が表示されます。HD PasswordオプションがLockedに設定されている場合、そのセッション中は、変更あるいは無効にすることができません。まずコンピュータの電源を切ってから、パスワードを入力した後に、起動ルーチン中にセットアップユーティリティを再実行します。

バッテリー自動学習ユーティリティの使い方

[バッテリー自動学習ユーティリティ](#)を実行して、バッテリーにフル充電容量を記憶させ、バッテリーゲージの正確さを維持することができます。このユーティリティは、ゲージが正確ではないと思われる場合にお使いください。このユーティリティは2ヶ月に1回以上実行しないでください。それ以上実行するとバッテリーの寿命が短くなる恐れがあります。

ユーティリティを実行するには、システムセットアッププログラムのPower画面で、Run Battery Learning設定をEnabledに変更します。そして、Exit画面でSave Changes and Exitを選択します。学習プロセスは完了するのに最大で6時間かかることがあります。<Esc>を押していつでもプロセスを中止することができます。

学習が終了したら、Run Battery Learningオプションは自動的にデフォルト設定のDisabledに戻ります。

[目次ページに戻る](#)

[目次ページに戻る](#)

Intel® SpeedStep™ オプション: Dell™ Latitude™ L400 ユーザーズガイド

[Intel SpeedStepの使い方](#)

[変更プロパティオプションの使い方](#)

[詳細オプションの設定](#)

Intel SpeedStepの使い方

お使いのシステムのIntel SpeedStepテクノロジーを使用すると、コンピュータがバッテリーまたはAC電源のいずれかで動作している場合でも、プロセッサのパフォーマンスレベルを設定できます。Intel SpeedStepテクノロジーは、Microsoft® Windows® オペレーティングシステムが実行中のみ使用できます。MS-DOS® モードを実行中は、プロセッサの速度をコントロールすることはできません。[セットアップユーティリティ](#)のプロセッサ情報をチェックすることでプロセッサの最大速度を確認することができます。

Intel SpeedStepのプロパティウィンドウを開くには、以下の手順を実行します。

- Windowsタスクバーのシステムトレイにあるフラグアイコンを右クリックして、パフォーマンスレベルオプションを開きます。以下の3つのオプションが表示されます。
 - 最大パフォーマンス** — コンピュータがバッテリーで動作している場合でも、最大パフォーマンスレベルに設定されます。
 - バッテリーに合わせたパフォーマンス** — コンピュータがコンセントに接続されている場合でも、バッテリー電源に最適なパフォーマンスレベルで動作するように設定されます。
 - プロパティ** — 追加のパフォーマンスオプションを変更できます。
- パフォーマンスレベルを変更するには、変更するオプションをクリックしてください。

お使いのコンピュータでACPI (Microsoft Windows 98、Windows 2000、またはWindows Me) が稼動していない場合、フラグアイコンがツールバーに表示されない時にIntel SpeedStepオプションを開くには、以下の手順に従ってください。

- スタートボタンをクリックし、**設定**をポイントします。
- コントロールパネル**をクリックします。
- 電源の管理**または**電源オプション**をクリックします。
- Intel SpeedStepテクノロジータブを選択し、変更するオプションを選択します。
- 変更を加えたら**適用**に続いてOKをクリックし、**電源の管理のプロパティ**または**電源オプションのプロパティ**ウィンドウを閉じます。

変更プロパティオプションの使い方

- Intel SpeedStepオプションウィンドウを開くには、フラグアイコンを右クリックして**変更プロパティ**オプションをクリックするか、またはフラグアイコンをダブルクリックします。

Intel SpeedStepテクノロジーウィンドウが開きます。

- 以下のパフォーマンスオプションが変更できます。
 - 電源が変更されたときにパフォーマンスを自動的に変更 (デフォルト)** - コンピュータがバッテリーで動作しているのか、またはコンセントに接続されているのかにより、自動的にコンピュータのパフォーマンスレベルを変更します。
 - パフォーマンスを自動的に変更する前に確認** - このオプションを選択すると、コンピュータのパフォーマンスレベルを変更する前に確認のプロンプトが表示されます。
 - バッテリーモードの場合 およびAC電源の場合プルダウンメニュー** - パフォーマンスレベルオプションを変更します。
- 適用**をクリックして設定を確定します。
- OKをクリックして、Intel SpeedStepテクノロジーウィンドウを閉じます。

詳細オプションの設定

詳細オプションでは、さまざまな オプションを無効にできます。詳細オプションを設定するには、以下の手順に従ってください。

- タスクバーのWindowsシステムトレイのフラグアイコンを右クリックします。

2. **プロパティオプション**をクリックします。

Intel SpeedStepテクノロジーウィンドウが開きます。

3. **詳細**ボタンをクリックします。

詳細ウィンドウが開きます。

4. 以下のオプションのいずれかをクリックします。

- 1 Intel SpeedStepテクノロジーを使用しない

詳細オプションでIntel SpeedStep を無効にした場合、プロセッサ速度の変更は、セットアップユーティリティでのみおこなえます。

- 1 Intel SpeedStepテクノロジーのアイコンをタスクバーに表示しない

- 1 パフォーマンスが変更時の音声通知を無効にする

5. **OK**をクリックして、設定を確定します。

6. **OK**をクリックして、Intel SpeedStep テクノロジーウィンドウを閉じます。

[目次ページに戻る](#)

[目次ページに戻る](#)

仕様: Dell™ Latitude™ L400 ユーザーズガイド

- [チップセットおよびバス](#)
- [PCカード](#)
- [メモリ](#)
- [コネクタ](#)
- [オーディオ](#)
- [ビデオ](#)
- [ディスプレイ](#)
- [ネットワークインタフェースコントローラ](#)
- [内蔵モデム](#)
- [キーボード](#)
- [バッテリー](#)
- [ACアダプタ](#)
- [サイズと重量](#)
- [環境\(コンピュータ\)](#)
- [タッチパッド](#)

チップセットおよびバス

システムマイクロプロセッサおよびチップセット	Intel SpeedStep™テクノロジー搭載のIntel® Mobile Pentium® IIIマイクロプロセッサ
マイクロプロセッサのデータバス幅	64ビット
DRAMバス幅	64ビット
アドレスバス幅	32ビット
フラッシュEPROM	4 Mb
AGPバス	66 MHz
PCIバス	33 MHz

PCカード

CardBus コントローラ	Texas Instruments TI1410 CardBusコントローラ
PCカードスロット	1つ (Microsoft® Windows® 98、Windows 2000、またはWindows Meオペレーティングシステムを実行しているコンピュータのZVカードを含む、タイプ I および タイプ II カードをサポート)
使用可能カード	3.3 Vおよび5 Vカード
PCカードコネクタサイズ	68ピン
データ幅(最大)	
PCMCIA	16ビット
CardBus	32ビット

メモリ

アーキテクチャ	SDRAM
メモリモジュールソケット	144ピン業界標準 SODIMM ソケット
メモリモジュールの容量およびタイプ	64、128、または256 MB 3.3 V SDRAM ¹ モジュール
標準 RAM	64 MB メモリモジュール
最大 RAM	256 MB
メモリクロック速度	100 MHz

コネクタ

パラレル	一方向、双方向、またはECPコネクタ
IDE	メディアベイ用IDEコネクタ
ビデオ	SVGA コネクタ
PS/2	ミニ DIN コネクタ
オーディオ	マイク入力ジャック ヘッドフォン/スピーカージャック
USB	USB標準コネクタ
ドッキング	Dell Latitude L400アドバンスポートリプリケータ用 ドッキングコネクタ
モデム	RJ-11コネクタ
NIC	RJ-45コネクタ

オーディオ

オーディオタイプ	Sound Blaster (ソフトウェアエミュレーション可)
オーディオコントローラ	Crystal CS4281 + CS4297A (AC97 CODEC)
ステレオ変換	20ビットDA変換、および18ビットAD変換
インタフェース:	
内部	PCIバス/AC97
外部	マイク入力ミニジャック ヘッドフォン/スピーカー出力ミニジャック
スピーカー	4Ωスピーカー
内蔵スピーカーアンプ	1.75 W
コントロール	ボリュームは、キーの組み合わせ、ソフトウェアアプリケーションのメニューまたはDellコントロールセンター (Windows 95のみ) の スピーカー ウィンドウによって調節可能。

ビデオ

データバス	AGP
ビデオコントローラ	ATI Mobility M
ビデオメモリ	4 MB

ディスプレイ

タイプ	12.1" XGA TFT
サイズ(表示領域):	
高さ	184.3 mm
幅	245.76 mm
対角線	307.3 mm
最大解像度/表示色	1024 x 768; 262,144 色
応答時間(基準)	10 - 30 ms
作動角度:	
水平方向	±45°
垂直方向	+15° / -30°

ドットピッチ	0.24 mm
消費電力:	
パネル(標準)	891 mW
バックライト	3.3 W
コントロール	輝度はキーの組み合わせによって調節可能

ネットワークインタフェースコントローラ

内蔵ネットワークインタフェースチップ	3Com® 3C920 10/100-BASETX PCI バスマスタ Ethernet
--------------------	--

内蔵モデム

DataFax モデム	世界的に普及している 56 Kbps v.90 Lucent 1646 コントローラレス DAA(Data Access Arrangement)モデム。詳しい情報は、モデムの オンラインマニュアル を参照してください。
-------------	---

キーボード

キーの数	84(米国)、85(ヨーロッパ)、88(日本)
キーの押幅	2.5 mm ±0.2 mm
キーの間隔	18 mm

バッテリー

タイプ	リチウムイオン
サイズ:	
高さ	12.7 mm
奥行き	57.25 mm
幅	262.49 mm
重量	220 g(4電池型); 293 g(6電池型)
電圧	14.8 VDC(4電池型); 11.10 VDC(6電池型)
容量	23 W(4電池型); 34 W(6電池型)
充電時間(概算): ²	
コンピュータ電源オン	約1.75時間(4電池型); 約2時間(6電池型)
コンピュータ電源オフ	約1.5時間(4電池型); 約1.75時間(6電池型)
耐久時間(概算) ²	300回の充電/放電サイクル(本来の容量の約80%で動作できるまで)
温度範囲:	
充電時	0°C から 45°C
放電時	0°C から 60°C

保管時

1年まで -20°C から 35°C、1ヶ月以内は -20°C から50°C

ACアダプタ

入力電圧	100 から 240 VAC
入力電流(最大)	1.5 A
入力周波数	50 から 60 Hz
出力電流	2.64 A (最大)
定格出力電圧	19.0 VDC
高さ	29 mm
幅	46.3 mm
奥行き	108 mm
重量(ケーブル含む)	355 g
温度範囲:	
動作時	0°C から 40°C
保管時	-20°C から 60°C

サイズと重量

高さ	25.7 mm
幅	272 mm
奥行き	220.0 mm
重量	6電池式バッテリーで1.63 kg 4電池式バッテリーで1.56 kg

環境(コンピュータ)

耐久温度範囲:	
動作時	5°C から 35°C
保管時	-20°C から 60°C
耐久湿度(最大):	
動作時	20 % から 80 % (結露しないこと)
保管時	8 % から 90 % (結露しないこと)
最大耐久振動:	
動作時	0.9 GRMS (ユーザ環境をシミュレートするランダム振動スペクトルを使った場合)
保管時	1.3 GRMS (航空/トラック輸送をシミュレートするランダム振動スペクトルを使った場合)
最大耐久衝撃: ³	
動作時	152.4 cm/秒 (ハーフサインパルス幅 2msと同じ)
保管時	203.2 cm/秒 (ハーフサインパルス幅 2msと同じ)
耐久高度(最大):	
動作時	-18 から 3,048 m

保管時

-18 から 10,600 m

タッチパッド

インターフェース	PS/2 (Microsoft マウスドライバ互換)
X/Y位置解像度	最小 20 ポイント/mm(グラフィックテーブルモード)
サイズ:	
厚さ	0.69 ± 0.15 mmプリント基板の厚み(マイラーカバーを含む)
幅	64.88 mm
高さ	48.88 mm
重量	6.0 ± 0.5 g
電源:	
入力電圧	5 V ± 10 %
出力電流	4.0 mA (名目上の動作)
ESD	15 kV (適切な装着時の前表面に適用)

メモ:

¹ Dell Latitude L400コンピュータは、100 MHzのSDRAM SODIMMモジュールのみをサポートし、EDOメモリモジュールはサポートしていません。

² 充電時間、耐久期間などのバッテリー性能は、コンピュータとバッテリーが使用される条件によって異なります。

³ ハードディスクドライブをヘッド停止位置で測定した数値です。

[目次ページに戻る](#)

[目次ページに戻る](#)

セットアップと操作: Dell™ Latitude™ L400 ユーザーズガイド

● [ACアダプタ](#)

● [バッテリー](#)

● [ディスプレイ](#)

● [メディアオプション](#)

● [キーボード](#)

● [PCカード](#)

● [タッチパッド](#)

● [セキュリティ機能](#)

● [外付けデバイスの接続](#)

[目次ページに戻る](#)

[目次ページに戻る](#)

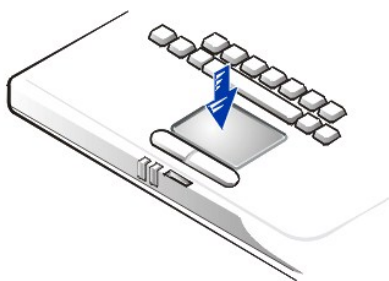
タッチパッド: Dell™ Latitude™ L400 ユーザーズガイド

- [タッチパッドの使い方](#)
- [タッチパッドのカスタマイズ](#)
- [タッチパッドおよびディスプレイのクリーニング](#)

タッチパッドの使い方


PS/2タッチパッド(図1参照)は、タッチ感度領域に指を乗せて使用します。タッチパッドの機能はマウスとまったく同じです。タッチパッドの2つのボタンは、標準的なマウスの左右のボタンに相当します。

図1 タッチパッド



タッチパッドを上手に活用するには、次の要領で操作します。

- 1 カーソルを移動するには、センサーのある滑らかな領域の上で指を軽く滑らします。
- 1 オブジェクトを選択するには、タッチパッドの表面をトンと1回タップします。
- 1 オブジェクトを選択して移動(あるいはドラッグ)するには、まず、オブジェクトにカーソルを合わせます。次に、タッチパッドを2回タップしますが、2回目のタップではタッチパッドから指を離さずに、パッド上でその指をすべらします。
- 1 ダブルクリックするには、オブジェクトにカーソルを合わせてからタッチパッドを2回タップします。

 **メモ:** タッチパッドが有効な場合、IRQ12が使用されます。タッチパッドが有効の状態では、他のデバイスはIRQ12を使用できません。

コンピュータにPS/2マウスを接続すると、タッチパッドは自動的に無効になります。

タッチパッドのカスタマイズ

タッチパッドをカスタマイズするには、次の手順を実行します。

1. **スタートボタン**をクリックし、**設定**から**コントロールパネル**をクリックします。
2. **マウスアイコン**をダブルクリックして **マウスのプロパティ** ウィンドウを開き、**タッチ** タブをクリックします。
3. 最も使いやすい設定を選択し、**適用** をクリックします。
4. **ボタン**、**ポインタ**、**動作**、**タッチ**、**エッジモーション**、**スクロール**、**ボタンの動作**、**およびその他の機能**タブをクリックして、それらの設定を希望するものに変更します。
5. **OK**をクリックして **設定** を保存し、ウィンドウを閉じます。

タスクバーにある**タッチパッドアイコン**をクリックして、**タッチパッドプロパティ**をクリックし、**マウスのプロパティ**コントロールパネルで設定することもできます。

タッチパッドおよびディスプレイのクリーニング

タッチパッドやディスプレイが使っているうちに汚れてきたら、少し湿らしたやわらかで清潔な布を使ってきれいにしてください。常にコンピュータの電源を

切ってから、ディスプレイやタッチパッドのクリーニングを行ってください。

タッチパッドをきれいにするには、タッチパッドの表面を布で丁寧に拭きます。布から水が滴れて、タッチパッドとコンピュータの上部カバーとの間に染み込まないようにしてください。

ディスプレイをきれいにするには、ディスプレイの上から下へ方向へ布で拭いてください。

[目次ページに戻る](#)

[目次ページに戻る](#)

ノートブックコンピュータを携帯するときは: Dell™ Latitude™ L400 ユーザーズガイド

- [コンピュータの所有者の証明](#)
- [携帯前のコンピュータの準備](#)
- [携帯中のヒントとアドバイス](#)

コンピュータの所有者の証明

盗難防止の措置として、使用を許可されていないユーザによるコンピュータのアクセスを防ぐためには、電源投入時パスワードとハードディスクドライブパスワードを設定します。

コンピュータを携帯する前に次の留意事項に従うようお勧めします。

1. [サービスタグ](#)をメモして、コンピュータやキャリーケースとは別の安全な場所に保管します。コンピュータを紛失したり、盗難に遭った場合は、警察とDellにこのサービスタグをお知らせください。
1. Microsoft® Windows® ノートパッドなどのテキストエディタを使って `if_found` というファイルをルートディレクトリに作成し、名前、住所、電話番号などの情報を入力します。(テキストエディタの使い方については、オペレーションシステムに付属のマニュアルをご覧ください。)
1. コンピュータに名刺または名札を付けます。
1. クレジットカード会社に問い合わせ、IDタグコードを発行しているかどうかを確認します。IDタグコードがあれば、名前、住所、電話番号などを知らせなくても見つかったコンピュータを返してもらうことができます。
1. 油性マジックなどの消えない筆記具で、免許証番号など、コンピュータが自分のものであると認識できる番号や印をコンピュータに記入しておきます。紛失または盗難に遭ったコンピュータが見つかったときに、その番号や印でコンピュータ所有者であることが証明できます。

サービスタグ

サービスタグとは、コンピュータの底面に貼ってあるバーコードラベルに記されたアルファベットと数字のコードです。サービスタグはコンピュータごとに違いますので、Dellのテクニカルサポートにお電話いただいた際に、所有者のコンピュータの情報をすばやく識別し、その構成を調べるのに役立ちます。

コンピュータを紛失したり、盗難に遭った場合

コンピュータを紛失したり、盗難に遭った場合は、次の手順を実行します。

1. 警察等の公的機関に、コンピュータの紛失または盗難を届け出ます。

コンピュータについて説明する際に、サービスタグを知らせてください。届け出番号のようなものがありましたら、それを尋ねてメモしておいてください。また、その機関の名称、住所、電話番号も書き記しておいてください。できれば、応対した担当者の名前も尋ねておきます。

コンピュータを紛失または盗難された場所を覚えている場合、その地域の公的機関に届け出ます。覚えていない場合は、現在お住まいの地域の機関に届け出てください。

2. 企業の所有するコンピュータの場合は社内のセキュリティオフィスに知らせてください。
3. Dellのテクニカルサポートに連絡して、紛失または盗難を知らせてください。

コンピュータのサービスタグと届け出番号、届け出た機関の名称、所在地、および電話番号をお知らせください。できれば、担当者名もご連絡ください。

Dellのサポートスタッフがコンピュータのサービスタグと連絡内容を記録し、紛失または盗難コンピュータとして登録します。別の人物が登録されたサービスタグのコンピュータに関してDellのテクニカルサポートに問い合わせをすれば、そのコンピュータは紛失または盗難品として認識されます。サポートスタッフがその人物の電話番号と住所を入手し、紛失または盗難の届け出を公的機関に連絡します。

携帯前のコンピュータの準備

コンピュータを携帯する場合は、次の手順を実行します。

1. コンピュータに取り付けられている外付けデバイスをすべて取り外して安全な場所へ保管します。PCカードに取り付けられているケーブルをすべて取り外します(PCカード自体を取り外す必要はありません)。
2. バッテリーの動作期間を最大にするには、バッテリーの充電量を確認してください。携帯する予備のバッテリーも含めてバッテリーをフル充電します。詳細は「[バッテリー](#)」を参照してください。
3. Windows NT®で動作中のシステムでは、コンピュータの電源を切るか <Fn><a>を押して [S2D\(Suspend-to-Disk\)](#)モードにします。ACPI 対応 (Windows 98、Windows 2000、またはWindows Me)のシステムでは、コンピュータの電源を切るか、または [休止状態](#)モードがスリープボタンで有効

になっている場合は、<Fn><Esc> (フランス語のキーボードでは<Fn><q>を押して休止状態モードにします。


注意：ACアダプタをコンピュータから取り外すときは、アダプタに損傷を与えないよう、ケーブルではなくコネクタをしっかり持って注意深く引き抜いてください。

4. ACアダプタをコンピュータから取り外します。

注意：ディスプレイを閉じる際に、キーボード上に物が残っているとディスプレイを傷つけることがあります。

5. キーボードやパームレストの上にディスプレイを傷つけるものが何もないことを確認して、ディスプレイを閉じます。
6. コンピュータのアクセサリをすべて梱包します。

別売りのDell製キャリーケースがあれば、コンピュータとアクセサリを一緒に梱包できます。空きスペースのない軽量トラベルケースも利用できます。

 **メモ：**携帯中のヒントとアドバイスを必ずご参照ください。また、航空機をご利用の場合は、特にご注意ください。

アクセサリ

コンピュータを携帯の際は、次のアクセサリも携帯します。

- 1 予備のバッテリー
- 1 PCカード用ケーブル (必要があれば)
- 1 ACアダプタとAC電源ケーブル
- 1 海外のコンセント用アダプタと電話ネットワーク用モデムケーブルアダプタ
- 1 プリンタを使用する場合は、適切なプリンタドライバ
- 1 メディアベイおよびケーブル
- 1 CD-ROMやディスクドライブのような追加できるストレージデバイス
- 1 バックアップディスク
- 1 Dell Latitude L400 ResourceCD

航空機の利用

コンピュータを航空機に携帯する場合は、次の点に注意してください。

- 1 空港での検査時には、ノートブックコンピュータを携帯していることを前もって教えてください。
- 1 手荷物チェックの際に、コンピュータに電源を入れてチェックする場合もあるので、必ず充電されたバッテリーか、ACアダプタと電源ケーブルを携帯してください。
- 1 必ず手荷物として機内に持ち込んでください。

注意：空港でコンピュータのチェックを受ける場合には、担当者に必ず手で扱うように伝えてください。ハードディスクドライブを金属探知器に通すと、データが失われることがあります。どうしても金属探知機に通さなくてはならない場合は、その前にハードディスクドライブを取り外します。

- 1 コンピュータを金属探知機に絶対に通さないでください (X線探知機に通しても支障ありません)。
- 1 機内でコンピュータを使う場合は、使用が許可されているかどうかを機内雑誌などで事前にチェックするか、乗務員にお尋ねください。航空会社によっては飛行中の電子機器の使用を禁止している場合があります。すべての航空会社が離着陸の際の使用を禁止しています。
- 1 Dellでは、携帯するコンピュータとアクセサリ類を保護するための各種キャリーケースを販売しています。
- 1 コンピュータをスーツケースに入れて運ぶ場合、少しゆとりを持たせて詰めてください。きつく詰めすぎるとディスプレイが壊れたり、また、ゆるすぎるとコンピュータがスーツケースの中で安定せずに動いてしまいます。
- 1 荷作りの際、ひげ剃りクリームやコロン、香水、食べ物などとコンピュータをいっしょにしないでください。
- 1 コンピュータやバッテリー、ハードディスクドライブを直射日光、汚れ、ほこり、液体などから保護し、極端に高温、低温な場所を避けてください。
- 1 コンピュータが車のトランクまたは飛行機の手荷物入れの中で不安定に動くことのないようご注意ください。
- 1 ハードディスクドライブをシステムと別に携帯する場合は、静電気防止バッグに入れるか布に包んで、静電気から保護してください。

注意：ハードディスクドライブはケースのみを丁寧に取り扱い、ドライバそのものに直接触れないでください。ドライバはその保護と、取り付けが簡単にできるように金属製のケースに入っています。ドライバケースはドライブの上下を露出させてドライブの側面のみを保護します。ドライバがコンピュータの外にある時は、静電気を帯びたり、また、キズがつきやすくなりますので、ご注意ください。

携帯中のヒントとアドバイス

- 1 バッテリーの長時間使用を予定している場合は、コンピュータの使用可能時間を延長するために[電源管理](#)機能の設定を変更します。
- 1 海外にコンピュータを携帯する場合は、通関で所有や使用权を証明する書類(会社所有のコンピュータの場合)が必要な場合があります。コンピュータが勤務先から提供された物の場合は、使用权を証明する書類を持参します。多数の外国に渡航する場合は、訪問予定国の通関規則を調べた上で自国政府から[国際通行許可証](#)を取得するようお勧めします。
- 1 国によっては電源が頻繁に中断されることがあります。海外ではバッテリーを常に充電し、取り付けておいてください。
- 1 クレジットカードをお持ちの場合は、ノートブックコンピュータ携帯中におこった緊急時のサポートなどについてクレジットカード会社にお問い合わせください。クレジットカード会社の多くは、連絡先所在地の入った3.5インチディスクやモデム接続用の直通ダイヤル電話回線など、困ったときに便利なサービスを提供しています。

注意:コンピュータが振動している状態で、メディアベイを使用しないでください。デバイスとハードディスクドライブとのやり取りが中断されることがあります。

国際通行許可証

国際通行許可証は、物品を一時的に持ち込むための許可証で、有効期間は一年間です。

[目次ページに戻る](#)

[目次ページに戻る](#)

コンピュータのトラブルシューティング: Dell™ Latitude™ L400 ユーザーズガイド

- [Dell診断プログラム](#)
 - [エラーメッセージ、IRQ および メモリ割り当て](#)
-

[目次ページに戻る](#)